

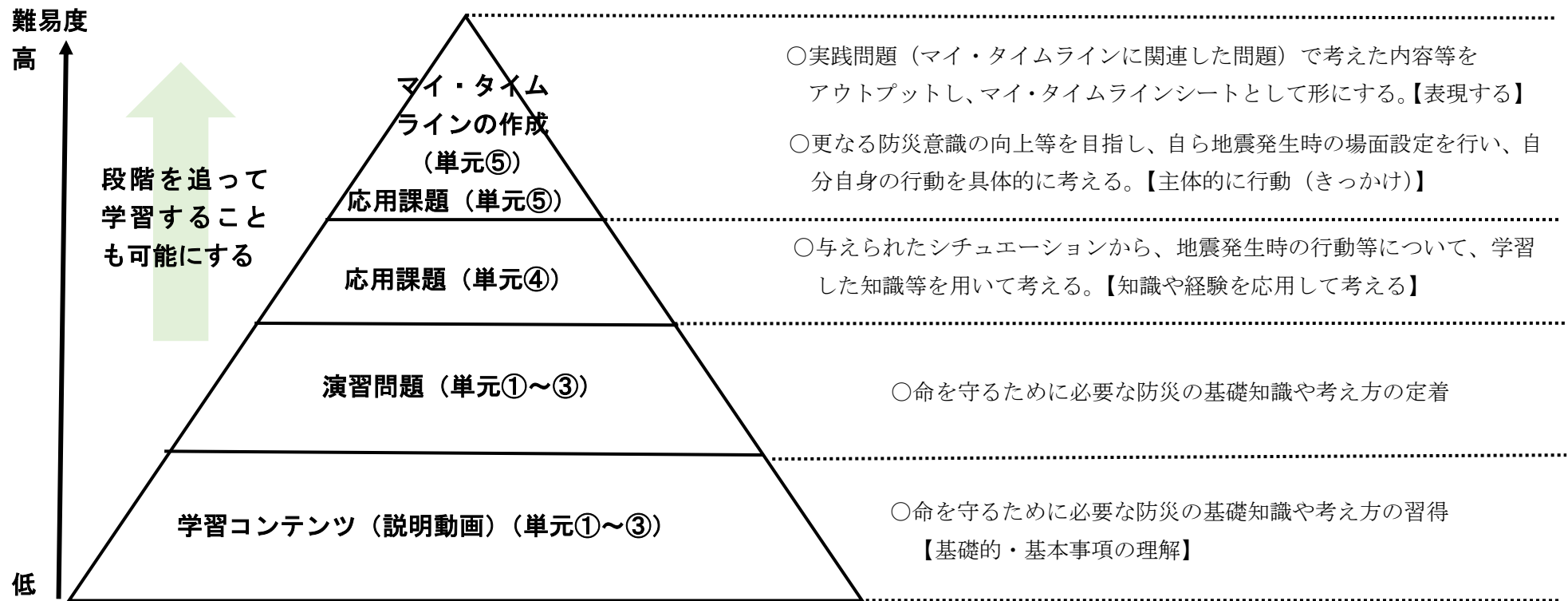
## 中学生向け地震・津波防災 e ラーニング教材を構成する単元等について

## 1 教材を構成する単元・要素等 ※赤字は中学校で新たに登場する項目

単 元	構成要素	単元の構成
①地震を知る	<p>構成要素：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでに起こった地震災害</li> <li>○ 地震・津波発生の仕組み（プレートの境界で発生する地震、活断層で発生する地震）</li> <li>○ 揺れの伝わり方（P波、S波）</li> <li>○ 地震の大きさを表すマグニチュードと震度</li> <li>○ 今後広島県で起こると想定されている地震災害</li> </ul> <p>ねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震発生の仕組み、地震発生に伴い生じる現象、これまでに日本各地で起こった地震災害及び今後起こると想定されている地震災害を関連付けて学ぶことで、広島県で今後いつ大きな地震災害が起きてもおかしくないことを理解するとともに、防災の重要性を認識する。</li> </ul>	説明動画 演習問題
②地震発生時の行動を知る	<p>構成要素：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 揺れているときに取る行動（安全なスペース（物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所）、体を守る行動（安全行動 1-2-3、頭を守る姿勢）、場所ごとの適切な行動（エレベーター、<b>電車等</b>））</li> <li>○ <b>緊急地震速報</b></li> <li>○ 揺れが収まった直後に取る行動（自分や周りの人の安全確認、けがの防止、火の元の確認、出口の確保、情報の収集等、速やかな避難（建物が崩れそうとき、近くで火災が起きたとき、崖や斜面が近くにあるとき、津波の危険があるとき等））</li> <li>○ 津波が来るときに取る行動（津波の特徴、<b>津波警報等</b>、高い場所に一人でも避難、警報解除まで高い場所に留まる、津波てんでんこ）</li> <li>○ <b>避難するときの注意点（火災、液状化、避難生活、余震）</b></li> </ul> <p>ねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震発生時の適切な行動を理解し、地震発生時に自ら判断して適切な行動ができるようになる。</li> </ul>	説明動画 演習問題
③地震に備える	<p>構成要素：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全なスペースの確保、拡大（自宅の家具の固定、配置等）</li> <li>○ 非常持出品・備蓄品の準備</li> <li>○ 避難先・<b>避難経路</b>の確認（ハザードマップの確認）</li> <li>○ <b>家族との集合場所、連絡手段の確認</b></li> </ul> <p>ねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際に地震が起こったときのことを具体的に想像しながら、自宅の家具の固定・配置等や、非常持出品・備蓄品の準備、避難先・避難経路及び家族との連絡方法を考えることができる。</li> <li>○ 災害を自分ごととして捉え、災害への備えについて家族と話し合う。</li> </ul>	説明動画 演習問題

<p>④《応用課題 シミュレーション》 地震が起こったらどうする？①</p> <p>(架空の場面が設定されているバージョン)</p>	<p>構成要素：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シミュレーション</li> <li>○ 場面設定（場所、時間、やっていること、周りにいる人、津波の危険性、避難先等）</li> </ul> <p>ねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 与えられた条件や場面において、どのような行動をとればよいか、自ら具体的に考えられるようになる。</li> </ul>	<p>演習問題 (応用課題)</p>
<p>⑤《応用課題 シミュレーション》 地震が起こったらどうする？②</p> <p>(自分の身近な場所を設定するバージョン)</p> <p>※ マイ・タイムライン作成あり</p>	<p>構成要素：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ シミュレーション</li> <li>○ 場面設定（場所、時間、やっていること、周りにいる人、津波の危険性、避難先等）</li> <li>○ マイ・タイムラインシート</li> </ul> <p>ねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分にとって身近な場所で地震が起こったらどのような行動をとればよいか、自ら具体的に考えられるようになる。</li> </ul>	<p>演習問題 (応用課題)</p>

## 2 中学生用防災eラーニングの問題等の構成イメージ



## 動画シナリオ案（中学生向け地震・津波防災 e ラーニング教材）

単元① 地震を知る（参考：2969 文字）

タイトル	ナレーション	ピクチャイメージ等（例）	メモ
<b>（導入）</b> <b>地震大国 日本</b> <b>（これまでに起こった地震災害）</b>  （301 文字）	<p>皆さんは、これまでに地震を経験したことがありますか。</p> <p>また、大きな地震の様子をテレビ等で見たことがありますか。</p> <p>日本では、地震による土地の沈降などによって私たちが生活する平野や盆地ができた一方、地震による被害がたくさん起こってきました。</p> <p>実際に、強い揺れによって建物が倒壊したり、大規模な土砂崩れが起こったり、地震火災が広がったり、津波が押し寄せたりしています。</p> <p>また、広島県では、2001 年に広島県沖で発生した芸予地震により、建物の倒壊や道路への落石などの被害が生じました。</p> <p>地震大国と言われるほど多くの地震が起こる日本では、いつ、どこで地震が起こるか分かりません。</p> <p>地震から命を守るために、地震について学びましょう。</p>	<p>○日本各地の被災写真、動画等 （写真を取り上げる地震の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物倒壊…1995 年の兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）</li> <li>・大規模な土砂崩れ…2016 年の熊本地震</li> <li>・地震火災…2024 年の能登半島地震</li> <li>・津波…2011 年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）</li> </ul> <p>○世界の地震分布図（世界地図上に地震の分布を示したもの）</p>	<p>※広島の話をしている箇所を強調する。（たとえば、広島の箇所に共通デザイン、共通のマークやキャラクター等を用いて、一目で広島の話だと分かるようにする）（以下同じ）</p>
<b>1 地震・津波発生の仕組み</b>  （41 文字）	<p>地震はどのように発生するのでしょうか。</p> <p>地震発生の仕組みは、場所によって異なります。</p>	<p>○一つ前で示した世界の地震分布図から日本をズームアップ。</p> <p>日本地図の状態からさらに拡大し、陸のプレート、海のプレート、海溝・トラフが一目で確認できるようなイラスト等を示す。</p>	
（205 文字）	<p>①プレートの境界で発生する地震</p> <p>地球は、いくつかのプレートと呼ばれる固い板状の層で覆われています。</p> <p>プレートはそれぞれ別々の方向に動いており、たとえば、一方のプレートの下に他方のプレートが沈み込んでいる場所では、上にあるプレートが下に沈み込むプレートの動きに耐えられなくなると、元の形に戻ろうとして、地震が起こることが多いです。</p>	<p>○一つ前で示した、陸のプレート、海のプレート、海溝・トラフが一目で確認できるようなイラスト等から、海溝・トラフ部分を拡大。</p>	



	日本は、4つのプレートの影響を受ける位置に存在するため、地震がたくさん発生しています。	○プレートの境界で地震が発生する仕組みを、アニメーション等を使用して分かりやすく示す。	
(76 文字)	そして、地震で海底の地面がずれることで、津波が発生する場合があります。津波とは、地震などによって発生した水の塊がものすごい勢いで押し寄せてくる現象です。	○プレートの境界で発生する地震によって津波が発生するメカニズムを、アニメーション等を使用して分かりやすく示す。	
(68 文字)	プレートの境界で発生した 2011 年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）では、非常に強い揺れや大きな津波により、広い範囲に被害が発生しました。	○東北地方太平洋沖地震の震源とプレートの境界を日本地図で示す。 ○被災写真等を掲載する。	
(139 文字)	②活断層で発生する地震 プレートの内部には、活断層があります。 活断層は、これまで繰り返し動いており、今後も動く可能性がある断層です。 日本にはたくさんの活断層があり、どの活断層で地震が起こってもおかしくありません。 また、海底の活断層が動いた場合には、津波が発生する可能性もあります。	○陸のプレート、海のプレート、海溝・トラフが一目で確認できるようなイラスト等を再掲。そこから陸のプレートを拡大。 活断層で地震が起こる仕組みを、アニメーション等を使用して分かりやすく示す。 ○活断層の場所が分かる日本地図を掲載する。	
(114 文字)	2024 年の能登半島地震や、2016 年の熊本地震、1995 年の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）は、活断層で発生した地震です。 地表近くで大きな地震が発生したため、強い揺れにより様々な被害が生じました。（能登半島地震では、）津波の被害もありました。	○活断層の場所が分かる日本地図を掲載する。活断層のマップ上で熊本地震、兵庫県南部地震等の震源を示す。	
2 揺れの伝わり方 (P 波、S 波) (137 文字)	地震が最初に発生した場所を震源、震源の真上の地表の位置を震央といいます。皆さんのもとに最初に来る弱い揺れが、P 波による初期微動で、後に来る強い揺れが、S 波による主要動です。 最初はそれほど強く揺れていなかったとしても、少ししてから揺れが強くなることがあるので、油断は禁物です。	○アニメーション等で P 波と S 波の違いを分かりやすく示す。（中学理科で習う程度の内容をアニメーションで簡潔に示す。）	
3 地震の大きさを表すマグニチュードと震度	地震の大きさを表す指標には、マグニチュードと震度があります。 マグニチュードは地震の規模を表す指標、震度は皆さんが感じる揺れの強さを表す指標です。	○マグニチュードと震度の違いが分かるイラスト等を示す。	

(104 文字)	少し分かりづらいので、その違いを、音の大きさに例えて説明します。		
(249 文字)	<p>スピーカーから流れる音量を 10 としたとき、皆さんがスピーカーの近くにいたら、8 程度の大きさで音が聞こえたとします。</p> <p>もう少しスピーカーから離れると、スピーカーから流れる音量は 10 のままであっても、皆さんの耳には例えば 4 程度の大きさでしか音が聞こえないでしょう。</p> <p>そして、スピーカーから更に離れていくと、いずれ音は聞こえなくなります。</p> <p>これを地震に置き換えると、スピーカーから流れる音量そのものが、地震でいう「マグニチュード」に、また、それぞれの場所で皆さんの耳に届いた音の大きさが、地震でいう「震度」になります。</p>	○イラストやアニメーションを使用して分かりやすく示す。	
(206 文字)	<p>それぞれの指標について、さらに説明します。</p> <p>まずは、マグニチュードについてです。</p> <p>これは、先ほどの例えの中で、スピーカーから流れる音量に例えたものです。</p> <p>マグニチュードは、地震の規模を表すものです。</p> <p>スピーカーから流れる音量が 10 のように、マグニチュードは、一つの地震につき一つの数字で表されます。</p> <p>数字が大きいほど、規模の大きな地震です。</p> <p>マグニチュードが一つ増えると地震のエネルギーは約 32 倍に、二つ増えると 1000 倍に増えます。</p>	<p>○単元①のここまでで触れたいくつかの地震（例：兵庫県南部地震、熊本地震等）のマグニチュードを、一覧表で示したり、震源とともに日本地図上に示したりする等、何らかの形で分かりやすく見せる。</p> <p>○マグニチュードの数字のイメージがわくようなものを入れる。</p> <p>（32 倍×32 倍≒1,000 倍）</p>	
(227 文字)	<p>次に、震度についてです。</p> <p>これは、先ほどの例えの中で、それぞれの場所で皆さんの耳に届いた音の大きさに例えたものです。</p> <p>震度は、各地点での地震の揺れの強さを表すものです。</p> <p>スピーカーの音を聞く場所によって聞こえる音の大きさが変わるように、同じ地震でも場所によって感じる揺れの強さが異なります。</p> <p>震度は、この表に示しているとおりの 10 階級に分かれており、数字が大きいほど、強い揺れであることを意味します。</p> <p>かなり強い揺れを伴う地震が、これまでに日本各地で起こってきました。</p>	<p>○震度 0～7 がそれぞれどのような揺れの状況になるかをイラストや一覧表等で分かりやすく示す。</p> <p>○震度の表とこれまでに日本各地で起こった地震の最大震度を並べて示す。</p>	

(341 文字)	<p>各地で観測される震度は、基本的には、地震のマグニチュードが大きいほど、また、震源から近い場所ほど、大きくなる傾向があります。</p> <p>たとえば、2024 年に福島県沖で発生した地震は、マグニチュード 5.8、震源の深さ約 50km、最大震度 5 弱でした。</p> <p>2001 年に広島県沖で発生した芸予地震は、震源の深さが約 51km で、この地震と震源の深さが近い一方、マグニチュードは 6.7 と大きく、最大震度 6 弱のより強い揺れが発生しました。より規模の大きな地震によって、より強い揺れが発生したことが分かります。</p> <p>また、2025 年に熊本県で発生した地震は、2024 年の福島県沖の地震と同じマグニチュード 5.8 ですが、震源の深さが約 9km と浅く、最大震度 5 強のより強い揺れが発生しました。より地表に近い場所で発生した地震によって、より強い揺れが発生したことが分かります。</p>	<p>○マグニチュードが大きいほど観測される震度が大きくなることが分かるよう示す。</p> <p>○震源から近い場所ほど観測される震度が大きくなることが分かるよう示す。</p> <p>○次の各地震の比較が分かりやすいよう、見せ方を工夫する。</p> <p>●2001 年 3 月 24 日 平成 13 年芸予地震 M6.7、震源の深さ約 51km、最大震度 6 弱</p> <p>●2024 年 3 月 15 日 福島県沖で発生した地震 M5.8、震源の深さ約 50km、最大震度 5 弱</p> <p>●2025 年 11 月 25 日 熊本県で発生した地震 M5.8、震源の深さ約 9km、最大震度 5 強</p>	
4 今後広島県で起こると想定されている地震災害 (72 文字)	<p>今後、広島県ではどのような地震災害が起こるのでしょうか。</p> <p>まず、プレートの境界で発生する地震である「南海トラフ地震」による被害が想定されています。</p>	<p>○広島県の場所と南海トラフの場所が分かるように示す。</p>	
(247 文字)	<p>南海トラフでは、これまで、およそ 90～150 年ごとに繰り返し大きな地震が発生してきました。</p> <p>現在、最後に南海トラフで大きな地震が発生したのは、1946 年であり、いつ再び大きな地震が発生してもおかしくないとされています。</p> <p>南海トラフ地震が発生すると、広島県では最大震度 6 強の非常に強い揺れが発生し、建物の倒壊やライフラインの被害等が起こると想定されています。</p> <p>また、広島県南部には、広範囲に津波が来る可能性があります。</p> <p>想定では、津波は最大で 4m に達し、津波による死者数は、最悪の場合、13,000 人にもものぼるとされています。</p>	<p>○南海トラフでこれまでに起こってきた地震の歴史とそれらの間隔のイメージが分かるように示す。</p> <p>○南海トラフ地震が発生した場合に広島県内各地で想定される最大震度を、地図等を使用して分かりやすく示す。</p> <p>○津波について画面に文字で提示する場合の表記は「最高津波水位 4m」とする。</p>	被害想定…令和 7 年 10 月広島県発表

		被害の例…建物被害（倒壊、焼失）、道路被害（液状化等）、土砂災害、ライフライン（電気、水道、ガス）の被害、物資不足等	
(186 文字)	<p>さらに、活断層で発生する地震による被害も想定されています。</p> <p>広島県内とその周辺には複数の活断層があります。</p> <p>活断層による地震では、最大震度 7 の強い揺れが想定されている場所もあり、南海トラフ地震よりも強く揺れる可能性があります。</p> <p>また、海底が震源の場合には、津波が来る可能性があります。</p> <p>想定では、津波は最大で 3.3m に達し、津波による死者数は、最悪の場合、13,000 人にものぼるとされています。</p>	<p>○活断層で地震が発生した場合に広島県内各地で想定される最大震度を、地図等を使用して分かりやすく示す。その際、「今後、この地図に描かれていない活断層が新たに見つかる可能性があります。」という注記を入れる。</p> <p>○津波について画面に文字で提示する場合の表記は「最高津波水位 3.3m」とする。</p>	被害想定…令和 7 年 10 月広島県発表
(105 文字)	<p>また、それ以外にも、県内のどこでも地震が発生する可能性があります。場所によっては、最大震度 7 の揺れが起こる可能性があります。他の地震と同様に様々な被害が想定されており、死者数は 1,000 人近くにのぼる可能性があります。</p>	<p>○県内各地で想定される最大震度を、地図等を使用して分かりやすく示す。</p> <p>○想定される震度</p> <p><a href="https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/646449.pdf">https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/646449.pdf</a></p> <p>○被害の例…建物被害（倒壊、焼失）、道路被害（液状化等）、土砂災害、ライフライン（電気、水道、ガス）の被害、物資不足等</p>	
<p>(まとめ)</p> <p>(151 文字)</p>	<p>ここまでの学習を通じて、地震や地震による被害について、理解できましたか。</p> <p>地震を止めることはできませんが、地震による被害は、皆さんの行動によって小さくすることができます。</p> <p>地震について正しく知った上で、少しでも被害を小さくするためにできることを学び、実践していくことが大切です。</p> <p>説明動画はこれで終わりです。</p>		

単元② 地震発生時の行動を知る（参考：2859 文字）

タイトル	ナレーション	ピクチャイメージ等（例）	メモ
<b>（導入）</b> <b>今地震が起こったらどうする？</b>  （108 文字）	皆さんは、今地震が起こったらどうしますか。 地震はいつどこで起こるか分かりません。 どのような状況であっても、地震が起こったら、瞬時にその場で適切な行動を取らなければなりません。 地震から命を守る行動について学びましょう。	○中学生の日常の様々な場面を示す。	
<b>1 揺れているときに取る行動</b>  （161 文字）	揺れているときは、できるだけ近くの安全なスペースで、体を守る行動を取りましょう。 安全なスペースとは、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所です。たとえば、机の下や、近くに物がない開けた場所等があります。 近くに机がある場合は、机の下で「安全行動 1-2-3」を、ない場合は、近くの開けた場所で、頭を守る姿勢を取りましょう。	○安全なスペース、安全行動 1-2-3、頭を守る姿勢をイラストや写真等で示す。 ○安全なスペースについて、実際のどこかの学校の教室の写真を使って、安全なスペースに着色して示す。	・安全行動 1-2-3、頭を守る姿勢等は、広島県発行「地震・津波から命を守るひろしまマイ・タイムライン」を参照。
（170 文字）	ただし、全ての状況において、この行動だけが正しいとは限りません。 たとえば、エレベーターに乗っているときは、速やかにすべての階のボタンを押して、止まった階で降りましょう。 他にも、電車に乗っているときは、手すりや吊り革等にしっかりとつかまりましょう。電車が緊急停車した場合、勝手に電車の外に出るのは危険です。乗務員の指示に従って行動しましょう。	○それぞれイラストや写真等を使用して分かりやすく示す。	
<b>2 緊急地震速報</b>  （303 文字）	地震がいつ発生するかは予知できません。 ただし、地中で発生した揺れが皆さんのもとに到達する前に、強い揺れが来ることを知らせる仕組みがあります。 それが、緊急地震速報です。 （緊急地震速報の音を流す） テレビやスマートフォン等からこのような音が聞こえたら、強く揺れることが想定されるので、速やかに近くの安全なスペースで体を守る行動をとりましょう。	○緊急地震速報の音を使用する。 ○緊急地震速報の仕組みが大まかにイメージできるようなイラスト等を使用する。	

	<p>緊急地震速報の発表から強い揺れの到達までの時間は、数秒から数十秒程度しかありません。また、震源の近くでは、緊急地震速報よりも先に強い揺れが到達する場合があります。</p> <p>よって、どのような状況でも落ち着いて行動できるよう、日頃から様々な状況を想定して練習しておくことが大切です。</p>		
<p><b>3 揺れが収まった直後に取る行動</b></p> <p>(512 文字)</p>	<p>揺れが収まったら、まずは、自分や周囲の人の身の安全を確認しましょう。</p> <p>家具の下敷きになって動けない場合には、無理に体を動かさず、できるだけ物を使って音を出し、周囲の人に自分の居場所を伝えましょう。</p> <p>続いて、火の元を確認しましょう。ガスコンロ等は、揺れているときには無理に火を消そうとせず、揺れが収まってから火を消しましょう。</p> <p>また、割れたガラスなどでけがをしないよう、室内でも靴等を履きましょう。</p> <p>さらに、室内に閉じ込められないよう、出入り口のドアを開けておきましょう。</p> <p>他にも、テレビやラジオ、Web サイトなどで情報を入手しましょう。ただし、SNSなどで誤った情報が流れることがあります。情報の発信元を確認して、信用できる情報か判断しましょう。</p> <p>情報を入手する具体的な手段には、広島県防災 Web、広島県防災情報メール通知サービス、LINE 版マイ・タイムラインなどがあります。広島県防災情報メール通知サービスや LINE 版マイ・タイムラインは、事前に設定が必要なので、確認しておきましょう。</p> <p>そして、入手した情報や実際の周囲の様子などから、建物が崩れそう、近くで火災が起きている、崖や斜面が近くにある、津波の危険がある場合には、速やかに安全な場所に避難しましょう。</p>	<p>○それぞれイラストや写真等を使用して分かりやすく示す。</p>	
<p><b>4 津波が来るときに取る行動</b></p> <p>(131 文字)</p>	<p>海底で地震が起こると、津波が発生する可能性があります。</p> <p>これは、広島県も例外ではありません。</p> <p>津波には、次のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・走っても逃げられないくらいの速さで、広い範囲にやってくる。</li> </ul>	<p>○津波の特徴を、イラストや写真、映像等を使用して分かりやすく示す。</p>	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30cm くらいの高さでも、立ってられないほどの力がある。</li> <li>・ くり返しやってくる。</li> </ul>		
(104 文字)	<p>津波が予想される場合には、津波警報等が発表されます。</p> <p>発表される内容は、地域ごとに予想される津波の最大波の高さと、津波の第一波の到達予想時刻です。</p> <p>広島県では、場所によっては津波警報が発表される可能性があります。</p>	○津波注意報、津波警報、大津波警報の基準等を分かりやすく示す。	
(324 文字)	<p>では、津波警報等が発表されたらどうすればいいのでしょうか。</p> <p>津波警報等が発表されたり、海や川の近くで揺れを感じたりした場合には、家族や友達を待たず、高台や丈夫な高い建物等に避難しましょう。</p> <p>広島県では、早い場所だと、地震発生から 1 分後には津波の影響が出始めると想定されています。</p> <p>ただし、津波の第一波が最大とは限りません。</p> <p>よって、津波警報等が発表されたら、たとえすぐに大きな津波が来なかったとしても油断せず、冷静な避難を心がけましょう。</p> <p>そして、津波はくり返しやってきます。</p> <p>津波警報等が解除されるまでは、必ず安全な場所に留まりましょう。</p> <p>また、津波警報等は何時間も解除されない可能性があります。</p> <p>避難した後に困らないよう、必要な物を事前に準備しておきましょう。</p>	○それぞれイラストや写真等を使用して分かりやすく示す。	
(455 文字)	<p>皆さんは、「津波てんでんこ」という言葉を知っていますか。</p> <p>東北の三陸地方の言い伝えで、「地震が起きたら津波が来るので、いち早くてんでんばらばらに高台に逃げろ」という意味です。</p> <p>2011 年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）では、ふだんから「津波てんでんこ」を標語に防災訓練を受けていた岩手県釜石市の中学生たちが、この教えに基づいて率先して避難しました。その結果、避難する中学生たちの姿が、それを見た周りの人たちの避難のきっかけとなり、多くの命が助かりました。</p>	○イラストや写真等を使用して分かりやすく示す。	

	<p>「津波てんでんこ」で大切なのは、皆さんそれぞれが自ら判断して行動する力、そして、自分だけでなく家族や大切な人もてんでんばらばらに逃げているはずだと信じる関係です。</p> <p>いざというとき、「てんでんこ」に避難することができるよう、日頃から防災について学び、家族や周りの人たちと避難について話し合っておきましょう。</p> <p>また、釜石の事例では、避難する中学生や地域の住民が小学生を助けながら一緒に避難しました。</p> <p>避難を行う際は、避難の声かけや、周囲の人の手助けを行うことも大切です。</p>		
<p>5 避難するときの注意点</p> <p>(504 文字)</p>	<p>地震発生後、停電していたり、しばらく別の場所に避難したりする場合には、ブレーカーを落としましょう。</p> <p>ブレーカーを落としておかないと、停電から復旧したときに漏電するなどして、火災の危険が高まります。</p> <p>2011 年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）や、2024 年の能登半島地震では、火災による被害が広範囲に及びました。</p> <p>また、避難するときには、ガラスや看板、自動販売機、電柱、ブロック塀などに注意しましょう。</p> <p>さらに、液状化や火災の影響で、道が通れなくなる場合があります。</p> <p>液状化とは、地震の揺れによって地盤が液体のような状態になる現象です。</p> <p>マンホールが浮き出したり、建物が沈んだりします。周囲の状況をよく確認し、臨機応変に安全な避難行動をとしましょう。</p> <p>避難先では、様々な人が同じ場所で過ごします。</p> <p>ルールを守り、大声で騒がず、乳幼児や高齢者、体が不自由な人に配慮することが大切です。</p> <p>避難したらまずは自分のことを自分でしましょう。そのうえで周りの人の手伝いができる場合は、大人に相談してから行動しましょう。</p>	<p>○自宅から避難所まで避難して避難所で過ごす過程を一つの流れで見せる。</p> <p>○火災や液状化の被災写真等</p> <p>○ブレーカーの写真と、「※必ず家にあるので、どこにあるか確認しておこう。」という文章を掲載する。</p>	



	そして、大きな地震の後は、その付近で地震が何度も続いて起こることがあります。地震発生後数週間程度は、特に注意して過ごしましょう。		
(まとめ)  (87 文字)	地震が起こったときにどのような行動を取れば良いか、理解できましたか。 いざというときに落ち着いて適切な行動を取ることができるようにしておきましょう。 説明動画はこれで終わりです。		

③ 地震に備える（参考 2759 文字）

タイトル	ナレーション	ピクチャイメージ等（例）	メモ
<p>（導入）</p> <p>地震への備え、していますか。</p> <p>（155 文字）</p>	<p>皆さんは、地震への備えをしていますか。</p> <p>「何とかなるだろう」「誰かが助けてくれるだろう」と思っていないですか。</p> <p>大きな地震は広範囲に影響を及ぼします。</p> <p>たとえば、あなたが水がなくて困っているときには、周りの人も同じように水がなくて困っています。</p> <p>いざというときに困らないよう、今できる地震への備えについて、学びましょう。</p>		
<p>1 安全なスペースの確保、拡大</p> <p>（389 文字）</p>	<p>今できることの一つに、自宅の安全なスペースの確保、拡大があります。</p> <p>安全なスペースとは、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所のことです。</p> <p>例えば、家具を固定したり、棚の置き方を変えたりすることで、安全なスペースができます。</p> <p>安全なスペースがたくさんあると、揺れているときに体を守るための選択肢が増えます。</p> <p>もし、安全なスペースを確保しておらず、家具の下敷きになってしまうと、その後の行動の選択肢が一気に限られてきます。</p> <p>自宅のどこにいたときに地震が起きても体を守ることができるよう、それぞれの部屋にできるだけ多くの安全なスペースを作っておきましょう。</p> <p>なお、実際には、建物によっては、報道される震度よりも強い揺れが長時間にわたって起こる場合があります。</p> <p>たとえば、マンションの高層階は低層階に比べて強く揺れやすいという特徴があります。家具の固定等はしっかりと行っておきましょう。</p>	<p>○写真またはアニメーションを使用して安全なスペースを拡大する様子を見せる。</p>	
<p>2 非常持出品・備蓄品の準備</p>	<p>揺れが収まった後、津波から命を守るために速やかに避難しなければならないかもしれません。</p>	<p>○非常持出品、備蓄品の具体的な物のイラストや写真等</p>	

(724 文字)	<p>また、建物の倒壊によってしばらく自宅で過ごせなくなり、知り合いや親戚の家、または避難所で生活することになるかもしれません。</p> <p>避難先では、必要な物が必ず手に入るとは限りません。</p> <p>そして、大きな地震が起こった後は、物流が止まり、お店から物がなくなる可能性があります。</p> <p>いざというときに少しでも困らないよう、地震が起こる前に、非常持出品や備蓄品を準備しておきましょう。</p> <p>非常持出品とは、リュックサックに入る程度の量で、避難するときに持って行く物です。</p> <p>何を準備するかは、例えば、どこかに泊まるときの荷造りをイメージすると、考えやすいです。</p> <p>地震が起こってからリュックサックに物を入れ始めるのではなく、地震が起こる前に必要な物を入れておき、いざというときには速やかにリュックサックを持って避難できるようにしておきましょう。</p> <p>備蓄品とは、災害にあった場合の生活に対して備えておく物です。</p> <p>食料品や飲料水は、一緒に避難する人の分も含めて、余裕をもって準備しておきましょう。</p> <p>備蓄を行うにあたって、普段の食品を多めに買い足しておき、日常生活で賞味期限の近いものから使い、使った分を買い足すという方法があります。これを、「ローリングストック」と言います。ローリングストックは、トイレットペーパーやマスク、乾電池等の日用品にも活用できます。</p> <p>そして、非常持出品や備蓄品を準備した後に、準備した食品の賞味期限が来たり、あなたにとって必要な物が変わったりすることがあります。</p> <p>また、季節によっても、暑さ対策や寒さ対策など、必要な物が変わります。</p> <p>一度準備したら終わりではなく、定期的に内容の点検をしましょう。</p>		
----------	--	--	--

<p>3 避難先・避難経路の確認（ハザードマップの確認）</p> <p>(548 文字)</p>	<p>いざというときにどこが安全かを知るために、身近な場所の津波の危険性を確認しておきましょう。</p> <p>津波の危険性を知るためには、ハザードマップを使います。</p> <p>ハザードマップは、自然災害の被害が予想される地域・範囲や避難する場所などを示したもので、ホームページや、市や町の窓口などで入手できます。</p> <p>ハザードマップには、土砂災害、洪水、高潮といった種類があります。</p> <p>今回は、津波のハザードマップを見てみましょう。</p> <p>これは、広島市中区付近の津波のハザードマップです。</p> <p>マップの中に、色がついている場所があります。</p> <p>この色が何を表しているかを示したものを、凡例といい、凡例を見ると、その場所でどのような災害の危険性があるかを確認できます。</p> <p>今回の場合、このハザードマップでは津波の浸水深を確認できます。</p> <p>たとえば、この辺り（広島駅周辺をピックアップする）は、場所によって、3.0m 未満の浸水の危険性があることが分かります。</p> <p>特に、津波の到達前であっても、地震によって堤防が壊れた場合などは、早い段階で浸水が起こることもあります。</p> <p>浸水深が 50cm であれば大人の膝上辺りまで、3.0m であれば建物の 1 階の天井辺りまで、5.0m であれば建物の 2 階の天井辺りまで浸水する可能性があることを示しています。津波は、30cm くらいの高さでも、立ってられないほどの力があります。</p>	<p>○広島県全体の地図から広島市を拡大して広島市の津波浸水のハザードマップを示す。広島駅周辺をさらに拡大して、3.0m 未満（例）の浸水の危険がある箇所をピックアップする。</p> <p>○浸水深のイメージができるイラスト</p>	
<p>(422 文字)</p>	<p>自宅や学校、よく行くお店など、身近な場所のハザードマップを確認しておきましょう。</p> <p>そして、どこを通ってどこに避難するかを考えておきましょう。</p>	<p>○それぞれ適切なイラストや写真等</p>	

	<p>避難経路は、川の近くや土砂災害の恐れがある場所、建物が密集している細い道などを避けるようにしましょう。</p> <p>ただし、自動販売機やブロック塀など、実際に道を歩かなければ分からない危険もあります。</p> <p>決めた避難経路を実際に歩き、ハザードマップでは気付かなかった危険がないか、確認しておきましょう。</p> <p>そして、地震発生後には、たとえば、液状化や火災の影響で通ろうと思っていた道が通れない可能性があります。</p> <p>避難経路や避難先は複数決めておきましょう。</p> <p>ハザードマップは、災害の危険性を確認するためにとても役に立ちます。</p> <p>しかし、想定以上の地震が起こると、色が塗られていない場所で災害が起きたり、想定よりも大きな被害になったりする可能性があります。</p> <p>よって、想定にとらわれず、その場の状況にあわせて臨機応変に考えて行動することが大切です。</p>		
<p><b>4 家族との集合場所、連絡手段の確認</b></p> <p>(443 文字)</p>	<p>地震が起こったときに、家族が近くにいるとは限りません。</p> <p>また、地震が起こると、いつもの連絡手段が使えなくなっているかもしれません。</p> <p>あらかじめ緊急時の家族の集合場所や連絡手段を決めておきましょう。</p> <p>家族の集合場所は、たとえば、14 時に小学校の正門前に集合、といったように具体的に決めておくといいでしょう。</p> <p>災害時に使える連絡手段には、災害用伝言ダイヤル（171）や災害用伝言板（web171）があります。</p> <p>音声で伝言したい場合は災害用伝言ダイヤル、文字で伝言したい場合は災害用伝言板を利用できます。</p>	<p>○171、web171 の使い方をイラストや写真等使用して分かりやすく示す。</p>	

	<p>これらのサービスは基本的に災害時のみ利用可能となっていますが、毎月 1 日、15 日等に利用体験ができます。</p> <p>いざというときに落ち着いてサービスを使えるように、利用体験の日に家族で練習しておきましょう。</p> <p>また、スマートフォンを持っていない場合やスマートフォンが使えない状況の場合、公衆電話からも災害用伝言ダイヤルを使うことができます。</p> <p>いざというときに備え、公衆電話の場所の確認や、公衆電話を使った利用の練習をしておきましょう。</p>		
<p>(まとめ)</p> <p>(78 文字)</p>	<p>地震に備えて今できることについて、理解できましたか。</p> <p>自分一人だけではなく、家族など、周りの人と一緒に準備しておくことが大事です。</p> <p>説明動画はこれで終わりです。</p>		

演習問題案（中学生向け地震・津波防災 e ラーニング教材）											別紙 3
単元	動画コンテンツの関連項目	項目		問題	解答欄	解答	解説	解説補足など	採点	問題・解説のコンテンツ制作（イラスト、画像、動画等）	
1	導入 1	演習1	地震による被害、地震発生仕組み	（問題 1） 地震の発生に関する説明のうち、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①日本は地震が多い地域であり、これまでに全国各地で地震による様々な被害が起こってきた。 <input type="checkbox"/> ②広島県ではこれまでに地震による被害が生じたことはない。 <input type="checkbox"/> ③プレートの境界で発生する地震によって、津波が発生することがある。 <input type="checkbox"/> ④活断層で発生する地震によって、津波が発生することはない。	① ③	① 日本はプレートの境界に位置するため、これまでに地震がたくさん発生し、各地で地震による被害が多数生じてきました。 ② 建物の倒壊などの被害が生じた平成13年芸予地震など、広島県でもこれまでに地震による被害は生じています。 ③ 海底面のプレートの境界部分が動き、海水の変動が起こることで、津波が発生することがあります。 ④ 海底の活断層が動いた場合、津波が発生する可能性があります。	② 芸予地震の被災写真を掲載する。 ③、④ 津波発生メカニズムの説明イラストまたは説明アニメーション等を掲載する。	○	○	
	2	演習2	地震の揺れ	（問題 2） 地震の揺れに関する説明のうち、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①一回の地震の揺れの中では、最初に感じる揺れが最も大きいとは限らない。 <input type="checkbox"/> ②地震が最初に発生した地中の場所を震央、震央の真上の地表の地点を震源という。 <input type="checkbox"/> ③P波は、最初に地表に伝わる地震波で、初期微動を引き起こす。 <input type="checkbox"/> ④S波は、P波の後に地表に伝わる地震波で、主要動を引き起こす。	① ③ ④	① 最初に弱い揺れ（初期微動）が起こり、その後強い揺れ（主要動）が起こります。最初に感じた揺れがそこまで大きくなかったとしても、油断しないようにしましょう。 ② 地震が最初に発生した地中の場所を震源、震央の真上の地表の位置を震央といいます。 ③ P波は地震発生時に最初に地表に伝わる地震波であり、初期微動という弱い揺れを引き起こします。 ④ S波はP波の後に地表に伝わる地震波であり、主要動という強い揺れを引き起こします。	② 震源、震央のイラストを掲載する。  （追加説明） P波が到着してからS波が到着するまでの時間を初期微動継続時間といいます。 初期微動継続時間は、震源から離れた場所ほど長くなります。 つまり、初期微動が長く続いた場合、震源から皆さんのいる場所までは、少し距離が離れていることが予想できます。	○	○	
	3	演習3	地震の大きさ	（問題 3） 地震の大きさに関する説明のうち、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①マグニチュードは地震の揺れの大きさ、震度は地震の規模を表す。 <input type="checkbox"/> ②広島県では、立っていることが困難なほどの強い揺れは想定されていない。 <input type="checkbox"/> ③広島県内で想定される最も大きい揺れは、県内全ての場所において、南海トラフ地震による揺れである。 <input type="checkbox"/> ④地震の震度は、基本的に、震源からの距離が近い場所ほど大きくなる傾向がある。	④	① マグニチュードは地震の規模を数値化したものです。一方、震度は各地点で感じられる揺れの強さを示したものです。そのため、マグニチュードは一回の地震につき一つの数字で表されるのに対し、震度は同じ一回の地震でも震源に近い場所と遠い場所で異なります。 ② 広島県では、最大で震度6強の揺れが想定されています。震度6強とは、はわないと動くことができなかったり、飛ばされたりすることもあるくらいの強さの揺れです。 ③ 広島県内では、地域によって、南海トラフ地震による揺れが最大であると想定されている場所と、それ以外の地震による揺れが最大と想定されている場所があります。 ④ 各地で観測される震度は、その地震のマグニチュードが大きいほど、また、震源からの距離が近い場所ほど、大きくなる傾向があります。活断層で発生する地震は、プレートの境界で発生する地震に比べて浅い場所が発生することが多いため、仮に地震の規模を示すマグニチュードが小さかったとしても、大きな揺れや、大きな被害につながる可能性があります。	① マグニチュードと震度の関係を示したイラストを掲載する。 ② 南海トラフ地震の震度想定地図と、震度6強の揺れのイラスト・説明を掲載する。 ③ 南海トラフ地震の震度想定地図と、活断層で発生する地震の震度想定地図（例：長者ヶ原-芳井断層または筒賀断層）を並べて掲載する。	○	○	
	4	演習4	広島県で想定される地震による被害	（問題 4） 広島県で想定される地震や津波に関する説明のうち、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①広島県には、津波が来ない。 <input type="checkbox"/> ②南海トラフ地震による広島県内の死者数は、1万人を超える可能性がある。 <input type="checkbox"/> ③広島県では、現在活断層が確認されていない場所を震源とする地震が起こる可能性もある。 <input type="checkbox"/> ④活断層で発生する地震について、広島県内では死者が出るような被害は想定されていない。	② ③	① 南海トラフ地震など、海底を震源とする地震が発生した場合、広島県にも津波が到達する可能性があります。 ② 南海トラフ地震では、津波などによる被害により、最悪の場合、広島県内で1万人を超える死者が出る想定されています。 ③ 現在活断層が確認されていない場所を含め、広島県内のどこでも震源になる可能性があります。たとえば、今後新たに活断層が見つかる可能性があります。 ④ 活断層で地震が起こった場合、震源の場所によっては、津波などによる被害により、広島県内で1万人を超える死者が出る可能性がある想定されています。	① 南海トラフや広島県周辺の活断層の位置を示した地図と、津波が発生する仕組みの説明イラストまたはアニメーション等を併せて掲載し、海底の活断層で地震が発生した場合に津波が発生する場合があることを分かりやすく示す。南海トラフ地震や活断層の地震の市町ごとの津波の高さの一覧を掲載する。 ②、④ 南海トラフ地震と活断層の地震の被害想定表を掲載する。	○	○	
2	1	演習1	揺れているときにとる行動	（問題 1） 揺れているときに安全を確保する行動として正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①エレベーターに乗っていたら、揺れが収まるまでエレベーターの中で待機する。 <input type="checkbox"/> ②室内にいたら、近くのものがない場所で頭を守る姿勢をとる。 <input type="checkbox"/> ③近くに棚があったら、棚が倒れないように支える。 <input type="checkbox"/> ④電車やバス、車などの乗り物に乗っていたら、乗り物が止まり次第、とにかく急いで外に出る。	②	① 地震時にエレベーターを使い続けるのは危険です。速やかにすべての階のボタンを押し、止まった階で降りましょう。エレベーターが停止して中に閉じ込められてしまった場合は、非常ボタンを押して救助を求めてください。 ② 地震が発生した際には、近くに物がない場所や丈夫なテーブルや机の下などの、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない安全なスペースで、頭を守りましょう。 ③ 棚から物が落ちてきたり、棚が倒れてきたりする可能性があります。揺れているときはできるだけ棚から離れるようにしましょう。 ④ 勝手に乗り物の外に出るのは危険です。周りの状況を見ながら、乗務員などの指示に従って行動しましょう。	（追加説明） ・階段…階段の上り下りをせず、その場で手すりをつかんでしゃがみ、揺れが収まるまで待つ。 ・トイレ…ドアが変形して閉じ込められる場合があるので、すぐにトイレのドアを開けて、避難できるようにする。 ・廊下…窓ガラスが割れる危険があるので、窓ガラスから離れる。	○	○	
	2	演習2	緊急地震速報	（問題 2） 緊急地震速報について正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①緊急地震速報によって、地震が将来いつどこで発生するかを正確に知ることができる。 <input type="checkbox"/> ②緊急地震速報は、揺れ始める前に発表されない場合がある。 <input type="checkbox"/> ③緊急地震速報は、揺れが想定される全ての地域に発表されるわけではない。 <input type="checkbox"/> ④緊急地震速報が発表されてから大きな揺れが到達するまでには、数分程度の時間がある。	② ③	① 緊急地震速報は、大きな地震の発生が観測された際に、強い揺れが想定される地域に対して、事前に揺れが来ることを知らせるものです。現状、将来いつどこで地震が発生するかを予測することはできないとされています。 ② 震源と人がいる場所の距離が近い場合には、緊急地震速報が届くよりも先に揺れを感じる可能性があります。 ③ 緊急地震速報は、強い揺れが想定されない地域には発表されません。 ④ 緊急地震速報が発表されてから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度です。緊急地震速報が発表されたら、速やかに近くの安全なスペースを見つけて体を守る行動（安全行動1-2-3、頭を守る姿勢）をとりましょう。	（調べてみよう）「長周期地震動」 …こちらから用語説明はせず、興味関心に応じて関連事項について調べてもらう	○	○	
	3	演習3	揺れが収まった直後の行動	（問題 3） 揺れが収まった直後の行動として正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①室内にいた場合、急いで外に飛び出す。 <input type="checkbox"/> ②家具の下敷きになってしまった場合、その場で力の限り叫び続ける。 <input type="checkbox"/> ③SNSで「〇〇町で火事が起きている」という見知らぬ人の書き込みを見つけた場合、とりあえずすぐに消防に電話をする。 <input type="checkbox"/> ④近くで火災が起きた場合、速やかに安全な場所に避難する。	④	① 建物の出入り口や街中では、上から物が落下してくることがあり危険なので、慌てて建物の外に飛び出さないようにしましょう。 ② 家具の下敷きになって動けない場合には、無理に体を動かさず、できるだけ物を使って音を出し、周囲の人に自分の居場所を伝えましょう。むやみに叫び続けると体力を消耗してしまいます。 ③ SNSの情報は、正しい情報ばかりではありません。誤った情報によって現場が混乱し、本当に助けが必要な人への対応が遅れてしまう場合もあります。信頼できる情報源からの情報を得て行動するようにしましょう。 ④ 火災が起きたときや建物が崩れそうとき、崖や斜面が近くにあるとき、津波の危険があるときなどは、速やかに安全な場所に避難しましょう。	（追加説明） 災害時に情報を得る方法の一つとして、ラジオのコミュニティFM放送があります。コミュニティFM放送とは、放送エリアを限定したラジオ局のことです。地域に密着したメディアなので、地域ごとにきめ細かな情報を得ることがができます。 災害時には、災害の情報だけではなく、物資、避難所、ガソリンスタンド、スマートフォンが充電できる場所など、様々な役立つ情報を得ることができます。 いざというときに情報の受信ができるよう、自分の住む地域にコミュニティFM放送があれば、聴いてみましょう。（県内のラジオ局と周波数の一覧を掲載する）	○	○	



	4	演習4	津波	(問題 4) 津波に関して、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①広島県では、地域によっては大津波警報が発表される可能性がある。 <input type="checkbox"/> ②広島県では、津波の第一波が最大なので、地震が起こった後すぐに大きな津波が来ない場合には、避難する必要はない。 <input type="checkbox"/> ③高さ30cm程度の津波であれば、大人であれば避難しなくてもよい。 <input type="checkbox"/> ④家族が近くにいないときに津波警報等が発表された場合、避難する前に急いで家族を探しに行くといよい。	①	① 広島県では、最大で4mの津波がくる可能性があります。3mを超える高さの津波が予想される場合には「大津波警報」が発表されます。 ② 広島県では、早い場所だと地震発生から1分後には津波の影響が始めると予想されていますが、第一波が最大とは限りません。すぐに大きな津波が来ないからといって避難をしないと、津波に巻き込まれてしまうかもしれません。また、津波は何度もくり返しやってきます。津波警報等が解除されるまでは、波が引いたからといって津波の恐れがある場所に戻らないようにしましょう。 ③ 津波は30cmくらいの高さでも、大人が立っていられないほどの威力があります。 ④ 家族が近くにいない時に津波警報等が発表されたら、家族も逃げているはずだと信じて、家族を探しに行かずにはまず避難しましょう。	① 津波警報、注意報等の基準の一覧表を掲載する。 ② 市町ごとの津波の最大波の高さと到達時間の一覧を掲載する。	○	○
	5	演習5	避難	(問題 5) 地震発生後の避難に関して、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①しばらく別の場所に避難する場合は、部屋の電気はつけたままにしておく。 <input type="checkbox"/> ②避難経路は、事前にいくつか決めておくといよい。 <input type="checkbox"/> ③避難先では、周りの手伝いができる状況の人は手伝うといよい。 <input type="checkbox"/> ④一度大きな地震が起こったら、しばらくは大きな地震は起こらないので、安心して過ごす。	② ③	① しばらく別の場所に避難する場合や、停電している場合には、ブレーカーを落としておかないと、停電から復旧したときに通電火災が発生する恐れがあります。 ② 避難する際、地震による液状化や建物の倒壊、火事などで、事前に決めていた道が通れない可能性もあります。そのような場合に備えて、避難経路は事前にいくつか決めておきましょう。 ③ 避難先では、様々な人が同じ場所で過ごします。周りを手伝える状況の人は、大人に相談した上で、積極的に手伝いましょう。 ④ 大きな地震の発生直後には1日に何度も大きな余震が起こることもあり、注意が必要です。余震の発生回数は、時間の経過とともに減っていきます。	④余震の回数のグラフを掲載する。 例：兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）、新潟県中越地震 <a href="https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/aftershocks/kiso_aftershock.html">https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/aftershocks/kiso_aftershock.html</a> 人物セリフ「（新潟県中越地震のグラフを踏まえて）余震でも規模の大きな地震が発生することがあるんだね。」	○	○
	1	演習1	安全なスペース	(問題 1) 安全なスペースの確保に関して、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①揺れているときに安全なスペースは、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所である。 <input type="checkbox"/> ②緊急地震速報が発表されてからその場で安全なスペースを作るとよい。 <input type="checkbox"/> ③リビングのテーブルの下が安全なスペースである場合、自分の部屋に安全なスペースは必要ない。 <input type="checkbox"/> ④安全なスペースを確保・拡大する方法は、家具の固定のみである。	①	① 揺れているときに安全なスペースは、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所です。たとえば、丈夫なテーブルの下や、近くに物がなく開けたスペース等があります。 ② 緊急地震速報が発表されてから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度です。緊急地震速報が発表されてから安全なスペースを作ることは難しいので、普段から意識して安全なスペースを作っておきましょう。 ③ 地震は、いつどこで起こるか分かりません。リビングに安全なスペースがあったとしても、地震が起こったときの自分のいる場所によっては、強い揺れが来たときに、そこにたどり着けるか分かりません。自宅の中には、できるだけ多くの安全スペースを作っておきましょう。 ④ 安全なスペースを確保・拡大する方法には、家具の固定の他、家具の配置の見直しなどもあります。	① 安全なスペースのイラストを掲載する。 ④ 家具の配置を変えることで安全なスペースが増えることを示すイラストを掲載する。	○	○
	2	演習2	非常持出品・備蓄品	(問題 2) 非常持出品・備蓄品について、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①非常持出品は、リュックサックに入る程度の量で、避難するときに持って行く物である。 <input type="checkbox"/> ②非常持出品・備蓄品は、地震が起こってからそのときに必要な物を準備するといよい。 <input type="checkbox"/> ③食品や日用品の備蓄には、ローリングストックという方法を活用するといよい。 <input type="checkbox"/> ④非常持出品・備蓄品は、一度揃えたら内容を見直す必要はない。	① ③	① 非常持出品は、リュックサックに入る程度の量で、一人一つ用意しておきましょう。また、実際に背負って移動できる重さかどうか、確かめておきましょう。 ② 地震が起こった後、速やかな避難が求められる場合は、非常持出品を準備する時間がないかもしれません。また、物流が止まり、必要な物が手に入らなくなる可能性もあります。日頃から非常持出品・備蓄品ともに、必要な物を考えて準備しておきましょう。 ③ ローリングストックとは、普段食べている食品等を多めに買い置きしておき、日常生活で賞味期限の近いものから使い、使った分を買い足すことです。食品だけでなく、トイレトペーパーやマスク、乾電池などの日用品にも活用できます。 ④ 時間が経つと、災害時に必要な物が変わったり、用意していた食品の期限が切れたりします。非常持出品・備蓄品は、定期的に内容の見直しを行いましょう。	具体的な物を写真やイラストで例示する。	○	○
	3	演習3	ハザードマップ	(問題 3) ハザードマップについて、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①津波のハザードマップに書いてある高さ以上の浸水の可能性はない。 <input type="checkbox"/> ②津波警報等が出るまでは津波のハザードマップを確認する必要はない。 <input type="checkbox"/> ③ハザードマップは、自宅周辺のものだけ確認すれば問題ない。 <input type="checkbox"/> ④ハザードマップを見て、避難先や避難経路は複数考えておくといよい。	④	① 基本的に、津波が想定される場所はハザードマップに記載されています。ただし、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）のように想定外の地震が起こると、ハザードマップに記載されている高さ以上の浸水や、ハザードマップに記載されていない場所への浸水などが起こる可能性も否定できません。 ② 津波警報等が出たら迷わず速やかに行動できるよう、地震が起こる前に津波のハザードマップを確認しておきましょう。 ③ いっどこで地震が起こっても適切な避難ができるよう、自宅だけではなく、他のよく行く場所等のハザードマップも確認しておきましょう。 ④ 想定していた避難先や避難経路が必ず利用できるとは限りません。避難先や避難経路をあらかじめ複数決めておくことで、様々なケースに対応ができます。	(調べてみよう) ・自然災害伝承碑 ・「J-SHIS」（その場所の揺れやすさなどが分かる）	○	○
	3	演習4	ハザードマップ	(問題 4) 次のハザードマップを見て分かることとして正しいものを、すべて選びなさい。	(県内のどこかの津波のハザードマップを提示する。 「凡例」に該当する部分は別途拡大して見やすくなるよう示す。 仮の例…海田町ハザードマップ) <input type="checkbox"/> ①①の辺りには、浸水深約1.0～3.0mの津波が来る可能性がある。 <input type="checkbox"/> ②②の地点にいるときに津波警報が出たら、緊急の場合には★の場所に逃げることも選択肢として考えられる。 <input type="checkbox"/> ③③の地点は浸水深約30cm程度の津波しか想定されていないため、避難しなくても問題はない。 <input type="checkbox"/> ④④の地点は津波の浸水は想定されていないため、地震発生後に津波の情報を確認する必要はない。	① ②	① ハザードマップに塗られている色を見て、どこにどのような危険性があるかを把握しましょう。 ② 津波の浸水想定区域内にある避難場所は、緊急の場合にのみ利用することとし、基本的には津波の浸水想定区域外にある場所に逃げるようにしましょう。 ③ 津波は30cm程度の高さであっても、立っていられないほどの力があります。津波が来る場合には避難しましょう。 ④ ハザードマップは、一定の条件の下で計算した想定を示しているものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性も否定はできません。ハザードマップで色が塗られていないからといって油断せず、情報収集をしながら行動するようにしましょう。	問題イメージ例（出典：海田町ホームページ） 	○	○



	4	演習5	家族との集場所・連絡方法	(問題5) 家族との集場所・連絡方法について、正しいものをすべて選びなさい。	<input type="checkbox"/> ①災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板は、いつでも使うことができる。 <input type="checkbox"/> ②スマートフォンを持っていない場合、災害用伝言ダイヤルを使うことができない。 <input type="checkbox"/> ③伝言を残すときは、無事かどうかだけを伝えるとよい。 <input type="checkbox"/> ④地震が起こったときに家族で集合する場所をあらかじめ決めておくとうい。	④	① 災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板は、災害時と、毎月1日、15日、毎年1月1日～3日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)に、体験利用ができます。家族と一緒に使う練習をしておきましょう。 ② 災害用伝言ダイヤルは、スマートフォン以外にも、公衆電話で利用することもできます。スマートフォンを持っていなかったり、スマートフォンが使えなかったりした場合には、公衆電話からの利用も検討しましょう。公衆電話がどこにあるかを事前に確認して、実際に使って練習をしておきましょう。 ③ 伝言を残すときは、①「誰が」②「どこに」避難しているか、③無事かどうか、④次の連絡の予定、の4点を伝えましょう。 ④ 地震が起こったときに、家族と必ず連絡が取れるとは限りません。連絡が取れない場合に備えて、家族で集合する場所をあらかじめ決めておきましょう。時間や、目印になる具体的な物まで決めておくと、より集合しやすいです。	①分かりやすく表で示す。 ④時計がある公園で、ベンチ(例)の周りで家族が合流しているイラスト	○	○
	-	演習6	地震への備え全般	(問題6) あなたの住む市や町のホームページや、広島県のホームページでは、地震や津波に関するどのような情報が分かるでしょうか。調べてみましょう。	(市や町、県のホームページを見て分かったこと)(自由記述欄)  【参考】 ・広島県 防災情報ポータルサイト https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/249/sougurumi-bousai.html ・広島県 地震被害想定(令和7年10月) https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kikitorikumi/1181640340970.html ・広島県 津波浸水想定図(令和7年10月) https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kikitorikumi/tsunamisinsuisou.html ・広島県防災Web https://www.bousai.pref.hiroshima.lg.jp/		市や町、県のホームページでは、想定される震度や津波の危険性、災害への備えなど、さまざまな情報を得ることができます。 どこにどのような情報があるのか知っておき、地震への備えやいざというときの情報収集に役立てましょう。	広島県防災Webの画像、市町のホームページの画像(一部抜粋)を掲載する。	×	○

単元④ シミュレーション課題① 与えられた状況でどのような行動をとるか考えることを通じて、地震発生時に自ら判断して適切な行動を取る力を養う。 状況は、写真またはイラストと、文章で提示する。 何も準備していないとどうなるかの疑似体験→基礎単元の知識の復習、準備の大切さ実感、学習や備えに対する意欲アップ。								採点	問題・解説のコンテンツ制作(イラスト、画像、動画等)
--	--	--	--	--	--	--	--	----	----------------------------

◆この単元では、大きな地震が発生してから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。 あなたの自宅が次のような状況だと仮定した場合、自宅にいるときに大きな地震が発生したらどうするかを、考えてみましょう。  (①状況設定を提示する。 ②実際の家の中の写真またはイラストを提示する。部屋の中に安全なスペースがありません状況を設定する。 例：部屋の中には、棚、壁掛け型のテレビ、テーブル、窓ガラス、吊り下げ式の電灯等がある。部屋の出入口付近に家具があり、地震によって部屋の出入口が塞がるような置き方をしている。 ③自宅の外観と町の様子が分かるイラストを提示する。自宅：2階建ての一軒家。海の近くに位置する。自宅のすぐ近くには、津波から安全を確保できそうな丈夫な4～5階建ての建物がある。自宅から少し離れた高台には学校がある。)  《状況設定》(あらかじめこちらで設定して生徒に提示する) 日時：20XX年1月X日 17:00 場所：自宅の居間 周りにいる人 家族： <u>周りにはいない</u> /周りにいる その他の人： <u>周りにはいない</u> /周りにいる 何をしている：自宅の居間でテレビを見ている 津波の危険性：なし/ <u>あり</u> ( 1.5 )m 避難先： <u>決めていない</u> /決めている 災害に備えて準備していること：( <u>特になし</u> )								×	○
--	--	--	--	--	--	--	--	---	---

単元	-	問題番号	関連する基礎単元の項目	問題	解答例	解説・補足など	採点	問題・解説のコンテンツ制作(イラスト、画像、動画等)
----	---	------	-------------	----	-----	---------	----	----------------------------

(動画) 緊急地震速報のテレビ画面の映像								×	○
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	---	---

	-	演習1	・揺れているときに取る行動① ・緊急地震速報 ・安全なスペースの確保・拡大	◆緊急地震速報の音が鳴りはじめました。 あなたはどこでどのような行動をとりますか。(自由記述)	(解答例) 近くのテーブルの下で安全行動1-2-3を行う。	緊急地震速報の音が鳴ったら、近くの安全なスペースで、体を守る姿勢をとりましょう。 安全なスペースとは、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこないスペースです。 体を守る姿勢には、安全行動1-2-3や、頭を守る姿勢などがあります。 今回の状況の場合、この中であれば、近くにテーブルがあるので、テーブルの下で安全行動1-2-3を行うことで、安全を確保できると考えられます。ただし、このテーブルは動かないように対策がされていないため、揺れによってテーブルが大きく動いて逆に危険となる可能性もあります。揺れがおさまるまでは、テーブルの脚を両手でしっかりと握るようにしましょう。また、事前にテーブルや棚などの家具の固定をして、より多くの安全なスペースを作っておきましょう。	×	○
	-	演習2	・揺れの伝わり方 ・揺れているときに取る行動②	◆緊急地震速報の数秒後に、あなたがいる場所が揺れ始めました。あなたは今、カタカタという程度の弱い揺れを感じています。どうしますか。(自由記述)  (ヒント) 人物「そんなに大きな地震じゃないから、もう大丈夫かな？」	(解答例) 大きな揺れがくるかもしれないので引き続き近くのテーブルの下で安全行動1-2-3を継続する。	弱い揺れ(初期微動)の後に、強い揺れ(主要動)がくるかもしれません。感じる揺れがあまり大きくなかったとしても、揺れが完全に収まるまでは、安全なスペースで体を守る行動を続けましょう。	×	○

4	「弱い揺れが数秒続いた後、はわないと動くことができないほど強い揺れが数十秒続き、その後、揺れが収まりました。」 (写真またはイラスト) 部屋の様子を示す。家具が入口を塞いでいる。(頑張れば動かせそうな程度の家具) (動画) 震源、震度等の情報がでているテレビ画面の映像				×	○		
	—	演習3	・揺れが収まった直後に取る行動	◆あなたは何とか無事で、動ける状態です。揺れが収まった直後に何をしますか。(自由記述) ※ヒントをイラストか何かで示す？	(解答例) ・けがをしないように靴やスリッパを履く。 ・出入口付近の家具を動かして、出入口のドアを開ける。 ・情報収集をする。 ・非常持出品を準備する。	揺れが収まった後、速やかに避難しなければならない状況になる可能性があります。必要な物を素早く持って避難できるよう、非常持出品は事前に準備しておきましょう。	×	○
	(動画) 津波警報が発表されているテレビ画面の映像						×	○
	—	演習4	・津波が来るときに取る行動 ・避難先・避難経路の確認	◆自宅がある地域に津波警報が出たようです。 あなたはこれまでに避難先やハザードマップの確認はしておらず、これからすぐにハザードマップを確認するのも困難な状況です。 あなたはどうしますか。(自由記述)	(解答例) ・食べ物や飲み物を持って近くの丈夫そうな高い建物に向かう。	津波警報が発表された場合、1m超3m以下の津波が予想されます。 津波が来る前に、できるだけ海や川から離れた高台や丈夫な高い建物など、より安全な場所に避難しましょう。 今回は、ハザードマップは確認できていませんが、自宅の2階よりも、近くの丈夫そうな高い建物に避難する方が、津波が来る前により安全を確保できると考えられます。 避難の際には、周りの人に避難を呼びかけることも大事です。 また、ペットがいる人は、ペットも連れて避難しましょう。 その場合、ペットを連れて行くことができる避難先をあらかじめ確認しておきましょう。 そして、想定外の地震が起こった場合、想定以上の高さの津波が来たり、津波が来ないと思った場所に津波が来たりする可能性があります。 想定にとらわれず、その場の状況を見て臨機応変に判断・行動しましょう。	×	○
	—	演習5	・家族との集合場所、連絡手段の確認	◆数時間後、自宅に高さ1.5mの津波がやってきたようです。 そこからさらにしばらく経った後、津波警報が解除されました。 その後も家族と連絡が取れない状況が続く中、あなたは公衆電話を発見しました。 公衆電話を使って災害用伝言ダイヤルで家族の電話番号を確認しましたが、家族からの伝言は登録されていませんでした。 しかし、あなたは災害用伝言ダイヤルで家族に伝言を残すことができそうです。どのような内容の伝言をしますか。 30秒以内に話せる量を目安に、実際に電話で話すとおりに書きましょう。(自由記述)  【あなたの状況】 ・今は地震発生の翌日の午後である。 ・携帯電話は通信状況が悪くてすぐに使える見込みが立っていない。 ・家族の誰とも連絡が取れておらず、早く会いたいと考えている。 ・けがはしていない。 ・担任の先生や友人のAさんたちと一緒に中学校の体育館にいる。 ・家族の電話番号は分かる。 ・家族と集合場所や連絡方法は決めていない。	(解答例) 広島 県太です。今、担任の先生やAさんたちと一緒に、〇〇中学校の体育館に避難しています。無事です。 明日の15時に××公園にいるので、可能であれば、そこに来てください。	災害用伝言ダイヤルに録音できる長さは1回30秒です。 30秒の間に次のようなことを伝えられるよう、練習しておきましょう。 ①誰が ②どこにいるか ③無事かどうか ④今後の予定(次の連絡の予定など)  災害時には、携帯電話だけでなく公衆電話を使って、災害用伝言ダイヤルで伝言を残したり聞いたりすることができます。伝言を残すための電話番号が必要なので、誰の電話番号に伝言を残すのか、あらかじめ家族で決めておきましょう。	×	○
—	演習6	・家族との集合場所、連絡手段の確認 ・非常持出品・備蓄品の確認など	◆自宅は、津波の被害を受けているため、しばらく暮らせそうにありません。 あなたは、家族と会えるまで、避難所にいようと考えました。 もし、地震が起こる前に戻ることができるとしたら、どのような準備をしておこうと思いますか。 (自由記述) (ここまで登場した写真・イラスト再掲)  【あなたの今の状況】 ・家族の状況が分からない。 ・持ち物 …ここまでの設問への解答で持ち物について言及している場合 → 解答の際に言及した物 ここまでの設問への解答で持ち物について言及していない場合 → 持ち物なし ・避難所である体育館が寒い(避難所の様子を写真またはイラストで提示) ・避難所に支援物資が届くまで数日かかる見込み。	(解答例) ・部屋の中に安全なスペースを作る。 ・非常持出品、備蓄品を準備する。 ・避難先を決める。 ・家族と連絡方法を決める。 ・家族と集合場所を決める。	今回の演習を通じて新たに気付いたことがあれば、それらも含め、地震が起こる前にしっかりと必要な準備や確認をしておきましょう。	×	○	

単元⑤ シミュレーション課題②(マイ・タイムラインシート作成含む) シミュレーション課題①のシチュエーション部分を自分で設定して、同じように具体的に想像しながらシミュレーションしていくことで、地震発生時に自ら判断して適切な行動を取る力を養う。 マイ・タイムラインは広島県公式ホームページ内に掲載しておき、単元の最後でそのページに誘導する。		採点	問題・解説のコンテンツ制作 (イラスト、画像、動画等)
◆この単元では、大きな地震が発生してから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。 まずはあなたにとって身近な状況を具体的に設定し、設定した状況において大きな地震が発生した場合に、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。  《状況設定》(生徒が自分で設定する) 日時：(        )年(        )月(        )日(        )時(        )分 場所：(        ) 周りにいる人 家族：周りにはいない/周りにいる(ペット等含めて具体的に記入) その他の人：周りにはいない/周りにいる(具体的に記入) 何をしている：(        ) 津波の危険性：あり/なし (※津波の危険性を調べて選択) 近くの避難先：(        ) 家族との集合場所：(        ) 災害に備えて準備していること：(        )		×	○

重ねるハザードマップ  
広島県防災Web  
避難所・避難場所検索 | 広島県「みんなで減災」はじめての一步

- ※ 津波の危険性や避難先を調べる時の参考
- ・重ねるハザードマップ
  - ・広島県防災Web
  - ・広島県「みんなで減災」はじめての一步 避難所・避難場所検索

単元	—	問題番号	関連する基礎単元の項目	問題	解答例	解説・補足など	採点	問題・解説のコンテンツ制作 (イラスト、画像、動画等)
5	—	演習1	・揺れているときに取る行動① ・緊急地震速報 ・安全なスペースの確保・拡大	◆緊急地震速報の音が鳴りはじめました。 あなたはどこでどのような行動をとりますか。（自由記述）	(解答例) ・部屋の中央にある近くに物が無いスペースで、頭を守る姿勢を取る。 ・教室の自分の机の下で、安全行動1-2-3を行う。	緊急地震速報の音が鳴ったら、近くの安全なスペースで、体を守る姿勢をとりましょう。 安全なスペースとは、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこないスペースです。 体を守る姿勢には、安全行動1-2-3や、頭を守る姿勢などがあります。	×	○
	—	演習2	・揺れの伝わり方 ・揺れているときに取る行動②	◆緊急地震速報が発表された数秒後に、あなたがいる場所が揺れ始めました。あなたは今、カタカタという程度の小さな揺れを感じています。 どうしますか。（自由記述）  (ヒント) 人物「そんなに大きな地震じゃないから、もう大丈夫かな？」	(解答例) 強い揺れがくるかもしれないので、引き続き近くに物が無いスペースで頭を守る姿勢を取る。（近くの丈夫なテーブルの下で安全行動1-2-3を行う。）	弱い揺れの初期微動の後に、強い揺れの主要動がくるかもしれません。 感じる揺れがあまり大きくなかったとしても、揺れが完全に収まるまでは、安全なスペースで体を守る行動を続けましょう。	×	○
	—	演習3	・地震の大きさを表すマグニチュードと震度 ・揺れが収まった直後に取る行動	◆小さな揺れが数秒続いた後、はわないと動くことができないほど強い揺れが数十秒続き、その後、揺れが収まりました。 あなたは何とか無事で、動ける状態です。 次にどうしますか。 あなたの周りがどのような状況になっているかを具体的に想像して、考えましょう。 (自由記述)	(解答例) ・靴やスリッパをはく。 ・火の元を確認する。 ・出口を確認する。 ・情報を収集する。 ・事前に作っておいた非常持出品袋を準備する。	まずは身の安全を確保しましょう。また、いつでも避難できるように、素早く避難の準備をしましょう。	×	○
	分岐A…最初に「津波の危険性あり」と選択した生徒に提示							
	—	演習4-A	・津波が来るときに取る行動	◆あなたがいる地域に津波注意報が出たようです。 あなたはどうしますか。（自由記述）	(解答例) 必要な物を持って近くの避難先である丈夫な高い建物に向かう。	あなたがいる地域に津波注意報、津波警報、大津波警報が発表されたら、必要な物を可能な範囲で持って、高台や丈夫な高い建物に避難しましょう。 避難の際に、周りの人に避難を呼びかけることも大切です。	×	○
	—	演習5-A	・家族との集合場所、連絡手段の確認	◆数時間後、最初にあなたがいた場所には、高さ1mの津波がやってきたようです。 そこからさらにしばらく経った後、津波注意報が解除されました。 その後、携帯電話の通信状況が悪く、家族と連絡が取れない状況が続く中、あなたは公衆電話を発見しました。 公衆電話を使って災害用伝言ダイヤルで家族の電話番号を確認しましたが、現時点で家族からの伝言は登録されていませんでした。 しかし、あなたは災害用伝言ダイヤルで家族に伝言を残すことができそうです。 あなたはどのような内容の伝言をしますか。 津波注意報が解除された後の状況（今どこにいるのか等）を具体的に想定し、30秒以内に話せる量を目安に、実際に電話で話すとおりに書きましょう。（自由記述）  (ヒント) 人物A「あなただったら家族のどんな情報が知りたいかな？」 人物B「私だったら、まず、無事なのか、どこにいるのかを知りたいかな。」	(解答例) 広島 県子です。今、近所のBさんと一緒に、〇〇中学校の体育館に避難しています。無事です。明日の15時に××公園にいますので、可能であれば、そこに来てください。	災害用伝言ダイヤルに録音できる長さは1回30秒です。 30秒の間に次のようなことを伝えられるよう、練習しておきましょう。 ①誰が ②どこにいるか ③無事かどうか ④今後の予定（次の連絡の予定など）  災害時には、携帯電話だけでなく公衆電話を使って、災害用伝言ダイヤルで伝言を残したり聞いたりすることができます。伝言を残すための電話番号が必要なので、誰の電話番号に伝言を残すのか、あらかじめ家族で決めておきましょう。	×	○
	分岐B…最初に「津波の危険性なし」と選択した生徒に提示							
	—	演習4-B	・避難するときの注意点	◆近くで火災が発生したようです。 あなたはどうしますか。（自由記述）	(解答例) 火災の恐れがない場所に速やかに避難する。	近くで火災が起きている、建物が崩れそう、崖や斜面が近くにある、津波の危険がある場合には、速やかに安全な場所に避難しましょう。	×	○
	—	演習5-B	・家族との集合場所、連絡手段の確認	◆あなたは無事です、携帯電話の通信状況が悪く、家族と連絡が取れない状況が続いています。 その後、あなたは公衆電話を発見しました。 公衆電話を使って災害用伝言ダイヤルで家族の電話番号を確認しましたが、現時点で家族からの伝言は登録されていませんでした。 しかし、あなたは災害用伝言ダイヤルで家族に伝言を残すことができそうです。 あなたはどのような内容の伝言をしますか。 今どこにいるのか等、状況を具体的に想定し、30秒以内に話せる量を目安に、実際に電話で話すとおりに書きましょう。（自由記述）  (ヒント) 人物A「あなただったら家族のどんな情報が知りたいかな？」 人物B「私だったら、まず、無事なのか、どこにいるのかを知りたいかな。」	(解答例) 広島 県子です。今、近所のBさんと一緒に、〇〇中学校の体育館に避難しています。無事です。明日の15時に××公園にいますので、可能であれば、そこに来てください。	災害用伝言ダイヤルに録音できる長さは1回30秒です。 30秒の間に次のようなことを伝えられるよう、練習しておきましょう。 ①誰が ②どこにいるか ③無事かどうか ④今後の予定（次の連絡の予定など）  災害時には、携帯電話だけでなく公衆電話を使って、災害用伝言ダイヤルで伝言を残したり聞いたりすることができます。伝言を残すための電話番号が必要なので、誰の電話番号に伝言を残すのか、あらかじめ家族で決めておきましょう。	×	○
	分岐AB共通							
	—	演習6	・避難するときの注意点	◆あなたは、しばらく避難先で過ごすことにしました。 避難先で過ごすためには、どのようなことが必要でしょうか。 準備することや気を付けることなどを書きましょう。（自由記述）	(解答例) ・非常持出品を持って行く。 ・避難先のルールを守る。 ・大声で騒がない。 ・乳幼児、高齢者や体が不自由な人に配慮する。 ・困っている人や体調が悪そうな人がいたら受付に伝える。 ・できる限り避難所の運営に協力する。	避難先では、普段と違う環境で生活することになります。 周りの人への配慮や、少しでも普段に近い生活を送るための準備（非常持出品）等が重要です。 避難先では、基本的に自分のことは自分でしうえて、周りの人を手伝うことができる場合には、積極的に手伝いましょう。	×	○
	—	演習7	・家族との集合場所、連絡手段の確認 ・非常持出品・備蓄品の確認など	◆ここまでを振り返り、その場所で地震が起こった場合に備えて、どのような準備をしておこうと思いますか。（ここまで登場した写真・イラスト再掲） 振り返りながら、マイ・タイムラインシートを作成しましょう。 (マイ・タイムラインシート（Word、PDF等）のファイルを広島県のホームページに掲載しておき、そこに遷移。タブレット上or印刷して紙でシートを作成する。)	(マイ・タイムラインシート作成)		×	○

場所の設定（ ）にいるときに地震が起こったらどうする？			
揺れる前	事前の準備	<div>※その場所で事前にできることにチェックをしましょう。</div> <div><input type="checkbox"/>安全なスペースの確認</div> <div><input type="checkbox"/>安全なスペースの確保・拡大（自宅の家具の固定など）</div> <div><input type="checkbox"/>ハザードマップの確認</div> <div><input type="checkbox"/>非常持出品・備蓄品の準備</div> <div><input type="checkbox"/>その他（ ）</div>	
揺れているとき	揺れているときの行動	安全なスペース	<div>※事前に確認や確保・拡大をした安全なスペースを書きましょう。</div> <div>（ ）</div> <div>体を守る行動（安全行動1-2-3、頭を守る姿勢）</div>
揺れがおさまった後	まずやること	<div>自分や周りの人の安全確認</div> <div>けがの防止</div> <div>火の元の確認</div> <div>出口の確保</div> <div>情報の収集</div> <div>その他（ ）</div> <div>↓</div>	
	津波の危険性	<div>※その場所の津波の危険性をハザードマップで確認して、チェックをしましょう。</div> <div><div><div><input type="checkbox"/>あり（ ）m</div><div>↓</div><div>↓</div><div>↓</div><div>（ ）</div><div>↓</div><div>（ ）</div></div><div><div><input type="checkbox"/>なし</div><div>↓</div><div>↓</div><div>↓</div><div>（ ）</div><div>↓</div><div>（ ）</div></div></div> <div><div>危険と感じる （・建物が崩れそう ・近くで火災が起きている ・崖や斜面が近くにある ・津波の危険がある）</div><div>危険と感じない</div></div>	
	周囲の様子		
	まず避難する場所		
	家族で集まる場所		

【参考】  
高潮・津波災害ポータルひろしま

<https://www.takashio-pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx>





Unit10101shinkou.jpg

演習1



演習2



演習3



演習4



実践



終了

大雨になりやすい原因

Unit10102mondai.jpg



大雨になりやすい原因①～③と、それらについて説明した文 A～C の、適切な組み合わせにチェックを入れなさい。

Unit10106hyou1.jpg

Unit10107hyou2.jpg

Unit10108hyou3.jpg

Unit10103hyouA.jpg

Unit10104hyouB.jpg

Unit10105hyouC.jpg

		① 停滞前線 (梅雨前線、秋雨前線など)	② 線状降水帯	③ 台風
A	強い風だけでなく、大雨を伴い広い範囲に長時間の大雨を降らせることも多い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B	6月頃や9月頃に発生し、同じ地域の広い範囲に長時間の大雨をもたらす。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C	上空に伸びる雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通り、とどまることで、雨雲の下の狭い範囲に大雨を降らせる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

解答

解説

を見る

Unit10109kaitoukaisetsu.jpg

Unit10110kaitou.jpg

演習1 >>> 大雨になりやすい原因

出題のねらい 大雨になりやすい原因と、その特徴を理解する。

解答

大雨になりやすい原因①～③と、それらについて説明した文 A～C の、適切な組み合わせにチェックを入れなさい。

	①停滯前線 (梅雨前線、秋雨前線など)	②線状降水帯	③台風
A 強い風だけでなく、大雨を伴い広い範囲に長時間の大雨を降らせることも多い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
B 6月頃や9月頃に発生し、同じ地域の広い範囲に長時間の大雨をもたらす。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 上空に伸びる雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通り、とどまることで、雨雲の下の狭い範囲に大雨を降らせる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Unit10111kaisethu1.jpg

解説

① 停滯前線 (梅雨前線、秋雨前線など)

前線とは、暖かい空気と冷たい空気の境目のこと。

梅雨前線や秋雨前線は、ほとんど移動せず、同じ位置にとどまる「停滯前線」の1つです。同じ地域の広い範囲に長時間の雨をもたらします。

② 線状降水帯

線状降水帯とは、線状に伸びる強い降水域のこと。

上空に伸びる雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通ったりとどまったりすることで、雨雲の下の狭い範囲に大雨を降させます。

Unit10112kaisethu3.jpg

③ 台風

熱帯低気圧のうち、最大風速が秒速17m以上に発達したもの。

強い風だけでなく、大雨を伴い広い範囲に長時間の大雨を降らせることも多くあります。

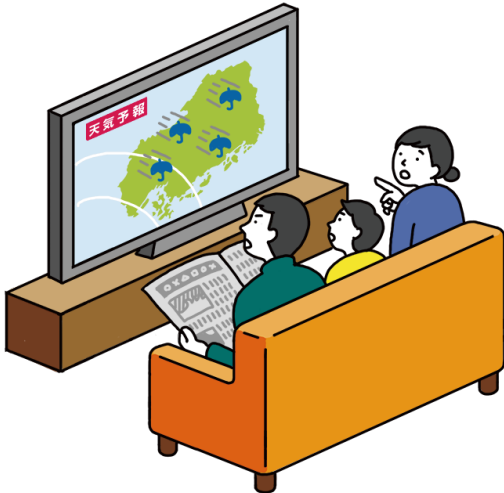
また、日本付近に前線があると、台風の影響で南の海上から流れこむ暖かく湿った空気が前線の活動を活発にします。

そのため、台風から離れた場所でも大雨になることがあります。

覚えて  
おこう!

- 地球温暖化の進行に伴って、極端な気象現象の回数は、今後も増加することが予測されている。

大雨になりやすい原因の  
それぞれの特徴を、  
動画で再度確認  
しておこう!



## 単元 ① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

メクビット

システム表示部分

※問題一覧 等

### Unit10201shinkou.jpg

演習1



演習2



演習3



演習4



じっせん  
実践



終了

どしゃ  
土砂災害とは

### Unit10202mondai.jpg



どしゃ  
土砂災害の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 土砂災害とは、大雨によってがけが崩れたり、崩れた土砂が流れ下ったりすることによって、家が壊されたり、人が亡くなったりする災害のことである。
- ☐ ② 土石流とは、大雨などで崩れた土砂に大量の水が混じって、谷を流れ下る現象である。
- ☐ ③ 土石流は、土石流が通る谷に住宅地があると大きな被害をもたらす可能性がある。しかし、その速さは、人が走れば逃げることができる速度である。
- ☐ ④ がけ崩れとは、大雨で地盤が緩んだ斜面が急に崩れ落ちてくる現象である。急な斜面で発生しやすい。
- ☐ ⑤ がけ崩れは、土石流と比較すると影響を及ぼす範囲は限られている。しかし、一瞬で崩れ落ちてくるため、人命に被害が生じる危険性がある。

解答

解説

を見る

### Unit10203kaitoukaisetsu.jpg

メクビット システム表示部分



演習2 >>> 土砂災害とは

出題のねらい 土砂災害の特徴や、土石流やがけ崩れ発生仕組みを理解する。



土砂災害の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 土砂災害とは、大雨によってがけが崩れたり、崩れた土砂が流れ下ったりすることによって、家が壊されたり、人が亡くなったりする災害のことである。
- ☒ ② 土石流とは、大雨などで崩れた土砂に大量の水が混じって、谷を流れ下る現象である。
- ☐ ③ 土石流は、土石流が通る谷に住宅地があると大きな被害をもたらす可能性がある。しかし、その速さは、人が走れば逃げることができる速度である。
- ☒ ④ がけ崩れとは、大雨で地盤が緩んだ斜面が急に崩れ落ちてくる現象である。急な斜面で発生しやすい。
- ☒ ⑤ がけ崩れは、土石流と比較すると影響を及ぼす範囲は限られている。しかし、一瞬で崩れ落ちてくるため、人命に被害が生じる危険性がある。



ど しゃ  
土砂災害

大雨によってがけが崩れたり、崩れた土砂が流れ下ったりすることによって、家が壊れたり、人が亡くなったりする災害のこと。

ど しゃ  
土砂災害の原因となる現象

土石流

大雨などで崩れた土砂が大量の水と混じって、谷を流れ下る現象。土石流が通る谷に住宅地があると、家や人命などに大きな被害をもたらすことがある。



くず  
がけ崩れ

斜面が急に崩れ落ちてくる現象。一瞬で崩れ落ちてきた土砂が家をお押しつぶすため、人命に被害が生じる危険性がある。



ま ちが  
ここが間違い!

- ③ 土石流はとても速く、人が走っても、逃げすることはできません。



土石流の  
最大時速  
約40km



- 土石流・がけ崩れは、どちらもいつ発生するかの予想が難しいため、早めに安全な場所へ避難することが重要!

## 単元 ① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

### Unit10301shinkou.jpg

メクビット

システム表示部分

※問題一覧 等

演習1



演習2



演習3



演習4



じっせん  
実践



終了

広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由

### Unit10302mondai.jpg



広島県は、全国で土砂災害警戒区域等が最も多い県です。その主な理由として適切なものを、次の①～④の中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 広島県は、他の都道府県に比べて雨が多く降るから。
- ☐ ② 広島県は、花崗岩が風化したマサ土が広く分布し、大量の水を含むと崩れやすい土地だから。
- ☐ ③ 広島県は、他の都道府県に比べて人口が多いから。
- ☐ ④ 広島県は、山の近くを開発して建てられた住宅地が多いから。

解答

解説

を見る

### Unit10303kaitoukaisetsu.jpg

メクビット システム表示部分

Unit10304kaitou.jpg

演習3 >>> 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由

出題のねらい 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由を理解する。

解答

広島県は、全国で土砂災害警戒区域等が最も多い県です。その主な理由として適切なものを、次の①～④の中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 広島県は、他の都道府県に比べて雨が多く降るから。
- ☒ ② 広島県は、花崗岩が風化したマサ土が広く分布し、大量の水を含むと崩れやすい土地だから。
- ☐ ③ 広島県は、他の都道府県に比べて人口が多いから。
- ☒ ④ 広島県は、山の近くを開発して建てられた住宅地が多いから。

Unit10305kaisethu1.jpg

解説

《 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由 》

広島県は、土砂災害の危険を示す土砂災害(特別)警戒区域が全国で最も多く、約48,000か所あります。

理由1 広島県の面積の半分以上が、花崗岩の地質である

花崗岩が風化したマサ土で覆われた斜面は、大量の水を含むと崩れやすい特徴があります。そのため、大雨が降ると、土石流やがけ崩れが起きやすいのです。



理由2 平地が少なく、山の近くを開発して建てられた住宅地が多い

広島県は、平地が少ないため、山の近くを工事し、土地を作って建てられた住宅地が多くあります。そのため、土石流やがけ崩れが起きると、家や人命に被害が生じる深刻な土砂災害となりやすいのです。



Unit10306kaisethu2.jpg

ここが間違い!

- ① 広島県の年降水量の平年値は約1,500mm。全国平均は1,700mmであることから、広島県は、雨の多い地域とはいえません。

覚えておこう!

- 全国で1年間に発生する土砂災害は、約1,400件といわれているが、平成30(2018)年7月豪雨では、広島県だけで1,242件の土砂災害が起こった。広島県は土石流やがけ崩れなどが起きると、家や人命に被害が生じる深刻な土砂災害になってしまいやすい。

## 単元 ① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

メクビット

システム表示部分

※問題一覧 等

### Unit10401shinkou.jpg

演習1



演習2



演習3



演習4



じっせん  
実践



終了

しんすい  
浸水災害とは

### Unit10402mondai.jpg



しんすい  
浸水災害の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 洪水(外水氾濫)とは、大雨で水位の上がった川の水が、住宅地などに流れこむ現象である。
- ☐ ② 内水氾濫とは、大量の雨で溝や下水道が雨水を排水処理できなくなり、行き場がなくなった水が市街地などにあふれる現象である。
- ☐ ③ 近くに川がない地域では、大雨による浸水の被害は発生しない。
- ☐ ④ 市街地などに川から大量の濁流が流れこんでくる場合は、被害が大規模になることが多い。
- ☐ ⑤ 市街地に大雨が降った場合、地下道などの周囲よりも低い土地の浸水に注意する必要がある。

解答

解説

を見る

### Unit10403kaitoukaisetsu.jpg

メクビット システム表示部分

演習4 >>> 浸水災害とは

出題のねらい しん すい 浸水災害の特徴や、洪水・内水氾濫発生仕組みを理解する。

解答 しん すい 浸水災害の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 洪水(外水氾濫)とは、大雨で水位の上がった川の水が、住宅地などに流れこむ現象である。
- ☒ ② 内水氾濫とは、大量の雨で溝や下水道が雨水を排水処理できなくなり、行き場がなくなつた水が市街地などにあふれる現象である。
- ☐ ③ 近くに川がない地域では、大雨による浸水の被害は発生しない。
- ☒ ④ 市街地などに川から大量の濁流が流れこんでくる場合は、被害が大規模になることが多い。
- ☒ ⑤ 市街地に大雨が降った場合、地下道などの周囲よりも低い土地の浸水に注意する必要がある。

Unit10405kaisethu1.jpg

解説

しん すい  
浸水災害

しん すい  
浸水災害の原因となる現象

こう ずい      はん らん  
洪水(外水氾濫)

大雨で水位の上がった川の水が、堤防を越えるなどして、住宅地などに流れこむ現象。川から大量の濁った水があふれて流れこんできた場合は、被害が大きくなることが多い。



はん らん  
内水氾濫

大量の雨で溝や下水道が雨水を排水処理できなくなり、行き場がなくなった水が市街地などにあふれる現象。近くに川がない場合でも、浸水することがある。



Unit10406kaisethu2.jpg

ここが間違い!

- ③ 近くに川がない場合でも、内水氾濫が起こり、浸水することがあります。

覚えて  
おこう!

- 広島県は、平成30年7月豪雨災害など、過去に洪水(外水氾濫)や内水氾濫による被害が出ている。
- 近くに川がない場合でも、内水氾濫によって浸水することがある。特に、地下道やアンダーパスなど、雨水は周囲よりも低い土地に集まるので注意しよう!

メクビット

システム表示部分

※問題一覧 等

### Unit10501shinkou.jpg

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

演習4 >>>

じっせん  
実践 >>>

終了

【調べてみよう!】あなたの住んでいる地域では、過去にどのような災害が起きましたか？

### Unit10502shirabe.jpg

調べてみよう!

災害を経験したことがあるなど、調べることがつらい場合は無理をして取り組む必要はありません。

あなたが暮らす地域(市町・学校区など)で、過去に自然災害(土砂災害、浸水災害、高潮災害など)が起こったことはありますか？

災害が起こったことがある場合は、

- 「いつ」・「どこで」・「どのような」被害があったのか？
- 近くに自然災害伝承碑※や災害を防ぐための防災施設があるか？

などについて調べ、わかったことを書きましょう。

※自然災害伝承碑：過去に発生した自然災害に関する情報が記載された石碑やモニュメント

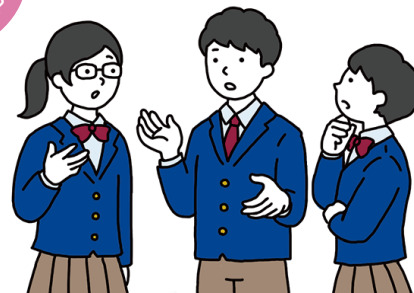
### Unit10503stepup.jpg

ステップアップ

調べた内容をグループで共有し、印象に残ったことや考えたことなどを伝え合ってみましょう。

ヒント

過去に起こった災害を調べたり、自然災害伝承碑の情報を入手したりできるWebサイトなどはあるかな？



解説を見る

### Unit10504kaisetsu.jpg



メクビット

システム表示部分

※問題一覧 等

みんな  
実践

>>>【調べてみよう!】あなたの住んでいる地域では、過去にどのような災害が起こりましたか?

解説

次のWebサイトなどから、あなたが暮らす地域で過去に起きた自然災害があるかどうか、確認してみましょう。地域の人に聞いてみるのもよいですね。また、自然災害伝承碑が近くにあれば、実際に見学に行ってみるのもよいでしょう。

## 広島県の情報

### ■広島県インフラマネジメント

基盤DoboX ひろしま2Dマップ  
<https://hiroshima-dobox.jp/visualization2/>  
 ※広島県のみ掲載



### ■地域の砂防情報アーカイブ

<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/saboarchive/saboarchive/index.aspx>  
 ※広島県のみ掲載



## 全国の情報

### ■国土地理院ウェブサイト

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



### 調べたことをいかそう!

- 過去の災害を調べてみて、どのようなことを感じたか
  - 過去の災害を知って、災害に対しての意識がどう変わったか
  - 災害から身を守るにはどうしたらよいか
- などについてグループで話し合い、自分の考えを広げてみましょう。

## 単元 ① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

## 演習1

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 5分  
実践 >>> 終了

大雨になりやすい原因

## 問題

大雨になりやすい原因①～③と、それらについて説明した文 A～C の、適切な組み合わせにチェックを入れなさい。

	①停滞前線 (梅雨前線、秋雨前線など)	②線状降水帯	③台風
A 強い風だけでなく、大雨を伴い広い範囲に長時間の大雨を降らせることも多い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B 6月頃や7月頃に発生し、同じ地域の広い範囲に長時間の大雨をもたらす。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 上空に伸びる雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通り、とどまることで、雨雲の下の方の狭い範囲に大雨を降らせる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

解答 解説 を見る

## 単元 ① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

## 演習2

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 5分  
実践 >>> 終了

土砂災害とは

## 問題

土砂災害の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 土砂災害とは、大雨によってがけが崩れたり、崩れた土砂が流れ下ったりすることによって、家が壊されたり、人が亡くなったりする災害のことである。
- ☐ ② 土石流とは、大雨などで崩れた土砂に大量の水が混じって、谷を流れ下る現象である。
- ☐ ③ 土石流は、土石流が通る谷に住宅地があると大きな被害をもたらす可能性がある。しかし、その速さは、人が走れば逃げることができる速度である。
- ☐ ④ がけ崩れとは、大雨で地盤が緩んだ斜面が急に崩れ落ちてくる現象である。急な斜面で発生しやすい。
- ☐ ⑤ がけ崩れは、土石流と比較すると影響を及ぼす範囲は限られている。しかし、一瞬で崩れ落ちてくるため、人命に被害が生じる危険性がある。

解答 解説 を見る



## 単元① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

### 演習3

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

演習4 >>>

実践 >>>

終了

広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由

#### 問題

広島県は、全国で土砂災害警戒区域等が最も多い県です。その主な理由として適切なものを、次の①～④の中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 広島県は、他の都道府県に比べて雨が多く降るから。
- ☐ ② 広島県は、花崗岩が風化したマサ土が広く分布し、大量の水を含むと崩れやすい土地だから。
- ☐ ③ 広島県は、他の都道府県に比べて人口が多いから。
- ☐ ④ 広島県は、山の近くを開発して建てられた住宅地が多いから。

解答

解説

を見る

## 単元① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

### 演習4

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

演習4 >>>

実践 >>>

終了

浸水災害とは

#### 問題

浸水災害の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 洪水(外水氾濫)とは、大雨で水位の上がった川の水が、住宅地などに流れこむ現象である。
- ☐ ② 内水氾濫とは、大量の雨で溝や下水道が雨水を排水処理できなくなり、行き場がなくなった水が市街地などにあふれる現象である。
- ☐ ③ 近くに川がない地域では、大雨による浸水の被害は発生しない。
- ☐ ④ 市街地などに川から大量の濁流が流れこんでくる場合は、被害が大規模になることが多い。
- ☐ ⑤ 市街地に大雨が降った場合、地下道などの周囲よりも低い土地の浸水に注意する必要がある。

解答

解説

を見る

単元 ① 大雨や台風によって起こる災害の種類と私たちの暮らし

実践

演習1

演習2

演習3

演習4

実践

終了

【調べてみよう!】あなたの住んでいる地域では、過去にどのような災害が起こりましたか?

調べてみよう!

災害を経験したことがあるなど、調べるのがつらい場合は無理をして取り組む必要はありません。

あなたが暮らす地域(市町・学校区など)で、過去に自然災害(土砂災害、浸水災害、高潮災害など)が起こったことはありますか?

災害が起こったことがある場合は、

- 「いつ」「どこで」「どのような」被害があったのか?
- 近くに自然災害伝承碑※や災害を防ぐための防災施設があるか?

などについて調べ、わかったことを書きましょう。

※自然災害伝承碑:過去に発生した自然災害に関する情報が記載された石碑やモニュメント

ステップアップ

調べた内容をグループで共有し、印象に残ったことや考えたことなどを伝え合ってみましょう。

ヒント

過去に起こった災害を調べたり、自然災害伝承碑の情報を入手したりできるWebサイトなどはあるかな?



解説を見る

# 演習1 解説

## 演習1 >>> 大雨になりやすい原因

出題のねらい 大雨になりやすい原因と、その特徴を理解する。

### 解答

大雨になりやすい原因①～③と、それらについて説明した文 A～C の、適切な組み合わせにチェックを入れなさい。

	① 停滞前線 (梅雨前線、秋雨前線など)	② 線状降水帯	③ 台風
A 強い風だけでなく、大雨を伴い広い範囲に長時間の大雨を降らせることも多い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
B 6月頃や9月頃に発生し、同じ地域の広い範囲に長時間の大雨をもたらす。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C 上空に伸びる雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通り、とどまることで、雨雲の下、狭い範囲に大雨を降らせる。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

### 解説

#### ① 停滞前線(梅雨前線、秋雨前線など)

前線とは、暖かい空気と冷たい空気の境目のこと。

梅雨前線や秋雨前線は、ほとんど移動せず、同じ位置にとどまる「停滞前線」の1つです。同じ地域の広い範囲に長時間の雨をもたらします。

#### ② 線状降水帯

線状降水帯とは、線状に伸びる強い降水域のこと。

上空に伸びる雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通ったりとどまったりすることで、雨雲の下、狭い範囲に大雨を降らせま

#### ③ 台風

熱帯低気圧のうち、最大風速が秒速17m以上に発達したもの。

強い風だけでなく、大雨を伴い広い範囲に長時間の大雨を降らせることも多くあります。

また、日本付近に前線があると、台風の影響で南の海上から流れこむ暖かく湿った空気が前線の活動を活発にします。

そのため、台風から離れた場所でも大雨になることがあります。

覚えて  
おこう!

- 地球温暖化の進行に伴って、極端な気象現象の回数は、今後も増加することが予測されている。

大雨になりやすい原因の  
それぞれの特徴を、  
動画で再度確認  
しておこう!



## 演習2 解説

### 演習2 >>> 土砂災害とは

出題のねらい 土砂災害の特徴や、土石流やがけ崩れ発生の仕組みを理解する。

#### 解答

土砂災害の説明として適切なものを、次の①～⑤の中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 土砂災害とは、大雨によってがけが崩れたり、崩れた土砂が流れ下ったりすることによって、家が壊れたり、人が亡くなったりする災害のことである。
- ☒ ② 土石流とは、大雨などで崩れた土砂に大量の水が混じって、谷を流れ下る現象である。
- ☐ ③ 土石流は、土石流が通る谷に住宅地があると大きな被害をもたらす可能性がある。しかし、その速さは、人が走れば逃げることができる速度である。✕
- ☒ ④ がけ崩れとは、大雨で地盤が緩んだ斜面が急に崩れ落ちてくる現象である。急な斜面で発生しやすい。
- ☒ ⑤ がけ崩れは、土石流と比較すると影響を及ぼす範囲は限られている。しかし、一瞬で崩れ落ちてくるため、人命に被害が生じる危険性がある。

#### 解説

### 土砂災害

大雨によってがけが崩れたり、崩れた土砂が流れ下ったりすることによって、家が壊れたり、人が亡くなったりする災害のこと。

### 土砂災害の原因となる現象

#### 土石流

大雨などで崩れた土砂が大量の水と混じって、谷を流れ下る現象。土石流が通る谷に住宅地があると、家や人命などに大きな被害をもたらすことがある。



#### がけ崩れ

斜面が急に崩れ落ちてくる現象。一瞬で崩れ落ちてきた土砂が家を押しつぶすため、人命に被害が生じる危険性がある。



#### ここが間違い!

- ③ 土石流はとても速く、人が走っても、逃げすることはできません。



土石流の  
最大速達  
約40km



#### 覚えて おこう!

- 土石流・がけ崩れは、  
どちらもいつ発生するかの予想が難しいため、  
早めに安全な場所へ避難することが重要!



## 演習3 解説

### 演習3 >>> 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由

出題のねらい 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由を理解する。

#### 解答

広島県は、全国で土砂災害警戒区域等が最も多い県です。その主な理由として適切なものを、次の①～④の中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 広島県は、他の都道府県に比べて雨が多く降るから。  
☒ ② 広島県は、花崗岩が風化したマサ土が広く分布し、大量の水を含むと崩れやすい土地だから。  
☐ ③ 広島県は、他の都道府県に比べて人口が多いから。  
☒ ④ 広島県は、山の近くを開発して建てられた住宅地が多いから。

#### 解説

### 《 広島県で深刻な土砂災害が生じやすい理由 》

広島県は、土砂災害の危険を示す土砂災害（特別）警戒区域が全国で最も多く、約48,000か所あります。

理由1 広島県の面積の半分以上が、花崗岩の地質である

花崗岩が風化したマサ土で覆われた斜面は、大量の水を含むと崩れやすい特徴があります。そのため、大雨が降ると、土石流やがけ崩れが起きやすいのです。



理由2 平地が少なく、山の近くを開発して建てられた住宅地が多い

広島県は、平地が少ないため、山の近くを工事し、土地を作って建てられた住宅地が多くあります。そのため、土石流やがけ崩れが起きると、家や人命に被害が生じる深刻な土砂災害となりやすいのです。



#### ここが間違い!

- ① 広島県の年降水量の平年値は約1,500mm。全国平均は1,700mmであることから、広島県は、雨の多い地域とはいえません。

#### 覚えておこう!

- 全国で1年間に発生する土砂災害は、約1,400件といわれているが、平成30(2018)年7月豪雨では、広島県だけで1,242件の土砂災害が起こった。広島県は土石流やがけ崩れなどが起きると、家や人命に被害が生じる深刻な土砂災害になってしまいやすい。

## 演習4 解説

### 演習4 >>> 浸水災害とは

出題のねらい 浸水災害の特徴や、洪水・内水氾濫発生仕組みを理解する。

#### 解答

浸水災害の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 洪水(外水氾濫)とは、大雨で水位の上がった川の水が、住宅地などに流れこむ現象である。
- ☒ ② 内水氾濫とは、大量の雨で溝や下水道が雨水を排水処理できなくなり、行き場がなくなった水が市街地などにあふれる現象である。
- ☐ ③ 近くに川がない地域では、大雨による浸水の被害は発生しない。
- ☒ ④ 市街地などに川から大量の濁流が流れこんでくる場合は、被害が大規模になることが多い。
- ☒ ⑤ 市街地に大雨が降った場合、地下道などの周囲よりも低い土地の浸水に注意する必要がある。

#### 解説

### 浸水災害

#### 浸水災害の原因となる現象

#### 洪水(外水氾濫)

大雨で水位の上がった川の水が、堤防を越えるなどして、住宅地などに流れこむ現象。川から大量の濁った水があふれて流れこんできた場合は、被害が大きくなるが多い。



#### 内水氾濫

大量の雨で溝や下水道が雨水を排水処理できなくなり、行き場がなくなった水が市街地などにあふれる現象。近くに川がない場合でも、浸水することがある。



#### ここが間違い!

- ③ 近くに川がない場合でも、内水氾濫が起こり、浸水することがあります。

#### 覚えておこう!

- 広島県は、平成30年7月豪雨災害など、過去に洪水(外水氾濫)や内水氾濫による被害が出ている。
- 近くに川がない場合でも、内水氾濫によって浸水することがある。特に、地下道やアンダーパスなど、雨水は周囲よりも低い土地に集まるので注意しよう!



実践  
解説

じっ せん  
実践

>>> 【調べてみよう!】あなたの住んでいる地域では、過去にどのような災害が起こりましたか?

解説

次のWebサイトなどから、あなたが暮らす地域で過去に起きた自然災害があるかどうか、確認してみましょう。地域の人に聞いてみるのもよいですね。また、自然災害伝承碑が近くにあれば、実際に見学に行ってみるのもよいでしょう。

広島県の情報

■広島県インフラマネジメント

基盤DoboX ひろしま2Dマップ  
<https://hiroshima-dobox.jp/visualization2/>  
※広島県のみ掲載



■地域の砂防情報アーカイブ

<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/saboard/saboarchive/saboarchivemap/index.aspx>  
※広島県のみ掲載



全国の情報

■国土地理院ウェブサイト

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



調べたことをいかそう!

- 過去の災害を調べてみて、どのようなことを感じたか
  - 過去の災害を知って、災害に対しての意識がどう変わったか
  - 災害から身を守るにはどうしたらよいか
- などについてグループで話し合い、自分の考えを広げてみましょう。

演習 1

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

演習4 >>>

実践1 >>>

実践2 >>>

終了

ハザードマップとは

問題

ハザードマップの説明として適切なものを、次の①～⑤の中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① ハザードマップとは、自然災害が発生したときに被害が想定される地域、被害の範囲や避難場所などを地図上に表示したものである。
- ☐ ② ハザードマップの種類には、土砂災害や、洪水、浸水、高潮などによる災害に関するものがある。
- ☐ ③ ハザードマップで色が塗られていない場所は、自然災害の危険性はない。
- ☐ ④ ハザードマップに表示された被害想定を超える自然災害が起きる可能性もある。
- ☐ ⑤ ハザードマップでは、凡例(自然災害の種類ごとの色分けの仕方など)を見なくても、危険性を確認することができる。

解答

解説

を見る

## 演習2

演習1

演習2

演習3

演習4

実践1

実践2

終了

ハザードマップの詳しい読み取り方(土砂災害)

### 問題

下は、広島市佐伯区周辺のハザードマップです。ハザードマップ内の●の場所には、どのような土砂災害の危険性があると読み取れますか。正しいものを、次の①～⑤までの中から、1つ選びなさい。



- ☐ ① 土砂災害特別警戒区域(土石流)の範囲である。
- ☐ ② 土砂災害警戒区域(土石流)の範囲である。
- ☐ ③ 土砂災害特別警戒区域(がけ崩れ)の範囲である。
- ☐ ④ 土砂災害警戒区域(がけ崩れ)の範囲である。
- ☐ ⑤ 土砂災害の危険性は示されていない。

解答

解説

を見る

演習3

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

演習4 >>>

実践1 >>>

実践2 >>>

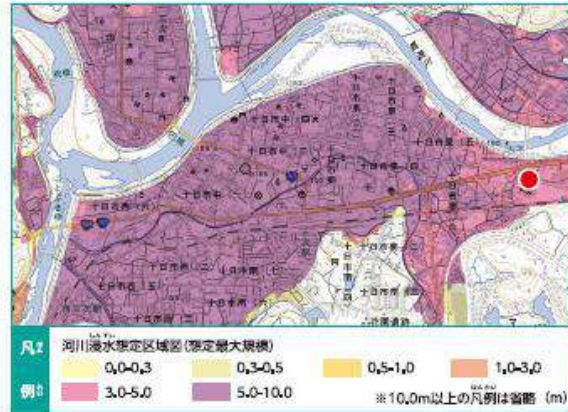
終了

ハザードマップの詳しい読み取り方(洪水)

問題

下は、三次市周辺のハザードマップです。ハザードマップ内の●の場所では想定最大規模の大雨が降った場合に、どのような浸水の危険性があると読み取れますか。

正しいものを、次の①～⑤までのの中から、1つ選びなさい。



- ☐ ① 浸水深5.0m～10.0mの危険性がある。
- ☐ ② 浸水深3.0m～5.0mの危険性がある。
- ☐ ③ 浸水深1.0m～3.0mの危険性がある。
- ☐ ④ 浸水深0.5m～1.0mの危険性がある。
- ☐ ⑤ 浸水の危険性は示されていない。

解答

解説

を見る



## 演習4

演習1

演習2

演習3

演習4

実践1

実践2

終了

避難先や避難経路の考え方

### 問題

避難先や避難経路(どの道を通して避難するか)を決めるために適切な考え方はどれですか。

次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 避難先や避難経路は、日頃から家族などで話し合い、決めておくことが重要である。
- ☐ ② 避難先を決めるときには、自宅から最も近い場所を選ぶことが重要である。
- ☐ ③ 避難所に限らず、安全な場所にある知り合いや親戚の家に避難することも有効である。
- ☐ ④ 早く避難先に着くためには、大雨が降り続いていても、近道である川沿いの道を通して避難するのがよい。
- ☐ ⑤ 避難経路は、使えなくなる場合を想定して、複数決めておくのがよい。

解答

解説

を見る

実践1

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> **実践1** >>> 実践2 >>> 終了

自宅の災害の危険性を調べてみましょう

マイ・タイムライン作成ステップ ①

自宅の「土砂災害」や「洪水」「浸水」「高潮」による災害の危険性を、あなたが住む地域（市町）のハザードマップで確認してみましょう。

災害の危険性がある場合は、どのような災害が起こる可能性があるかを書きましょう。

ココがポイント! 〈災害の危険性を調べるとき〉

以下のWebサイトからも災害の危険性を調べることができます。

国土交通省ハザードマップポータルサイト

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



土砂災害ポータルひろしま

<https://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx>



洪水ポータルひろしま

<https://www.kouzui.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx>



高潮・津波災害ポータルひろしま

<https://www.takashio.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx>



解説を見る



## 実践2

演習1

演習2

演習3

演習4

実践1

実践2

終了

あなたの避難先を考えてみましょう

### マイ・タイムライン作成ステップ ②

災害の危険が迫ったとき、あなたはどこに避難しますか。あなたや家族の避難先を、ハザードマップなどを見ながら考えて、2か所以上書きましょう。

ココがポイント！

〈避難先を考えるとき〉

- 避難先は、2か所以上決めておきます。

自治体(市町)が指定している避難所だけでなく、安全な場所にある知り合いや親戚の家、ホテルや旅館などに泊まることも有効です。



- 「自宅」を避難先とすることも可能です。

自宅が安全な場所にある場合は、「自宅」を避難先にすることも可能です。しかし、いざというときの安全のために、もう1つの避難先を考えておきましょう。

市町の指定する避難所・避難場所については、以下のwebサイトからも調べることができます。

#### ■広島県「みんなで減災」はじめの一歩

避難所・避難場所検索(広島県のみ掲載)

<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/search/>



記入例

・避難先①: ○○市民センター  
・避難先①: △△小学校  
・避難先①: 自宅

・避難先②: いとこの家  
・避難先②: □□ホテル  
・避難先②: ○○公民館 など

解説を見る

## 演習1 解説

### 演習1 >>> ハザードマップとは

出題のねらい ハザードマップの基本事項を理解する。

#### 解答

ハザードマップの説明として適切なものを、次の①～⑤の中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① ハザードマップとは、自然災害が発生したときに被害が想定される地域、被害の範囲や避難場所などを地図上に表示したものである。
- ☒ ② ハザードマップの種類には、土砂災害や、洪水、浸水、高潮などによる災害に関するものがある。
- ☐ ③ ハザードマップで色が塗られていない場所は、自然災害の危険性はない。
- ☒ ④ ハザードマップに表示された被害想定を超える自然災害が起きる可能性もある。
- ☐ ⑤ ハザードマップでは、凡例(自然災害の種類ごとの色分けの仕方など)を見なくても、危険性を確認することができる。

#### 解説

### 《 ハザードマップの基礎知識 》

- ハザードマップとは、自然災害が発生した場合の被害を予測して、被害が想定される地域や被害の範囲、避難場所などを地図上に表示したものです。
- ハザードマップには、土砂災害や、洪水、浸水、高潮による災害のほか、津波災害やため池災害などの種類があります。災害種別に、自宅周辺の災害の危険性を確認することが必要です。

#### ここが間違えい！

- ③ ハザードマップはある一定の条件の降雨などを想定して作成されています。そのため、「色が塗られていない場所は安全だ」とは言いけません。想定以上の雨が降ったときなどには、色が塗られていない範囲で災害が起きたり、想定よりも大きな被害になったりする可能性があります。
- ⑤ ハザードマップは自治体(市町)ごとに作成されています。凡例には色分けの仕方や浸水の深さの示し方などが書かれているので、凡例を必ず確認しましょう。

#### 覚えて おこう！

### 《 ハザードマップの読み取り方 》



まず、ハザードマップが自宅にあるかどうかを確認しよう！

避難場所の開設される順番が示されている場合があります。



色分けの仕方や浸水の深さなどが示されています。

災害種別の詳しい見方については、このあとの演習2(土砂災害)・演習3(洪水)で学習します。



## 演習2 解説

### 演習2 >>> ハザードマップの詳しい読み取り方(土砂災害)

出題のねらい 土砂災害のハザードマップの読み取り方を理解する。

#### 解答

下は、広島市佐伯区周辺のハザードマップです。ハザードマップ内の●の場所には、どのような土砂災害の危険性があると読み取れますか。正しいものを、次の①～⑤までの中から、1つ選びなさい。



☐ ① 土砂災害特別警戒区域(土石流)の範囲である。

☒ ② 土砂災害警戒区域(土石流)の範囲である。

土砂災害警戒区域 土石流

☐ ③ 土砂災害特別警戒区域(がけ崩れ)の範囲である。

☐ ④ 土砂災害警戒区域(がけ崩れ)の範囲である。

☐ ⑤ 土砂災害の危険性は示されていない。

#### 解説

● 凡例を確認すると、●で示された場所は土砂災害警戒区域の中にあり、土石流による災害の危険性があると読み取れます。

● 一方、がけ崩れについては土砂災害警戒区域(がけ崩れ)の範囲には入っていないことが読み取れます。

#### 覚えて おこう!

● ハザードマップは、自治体(市町)ごとに作成されている。そのため、自然災害の種類ごとの色分けなどは、自治体によって異なることがある。必ず「凡例」を確認するようにしよう。





## 演習3 解説

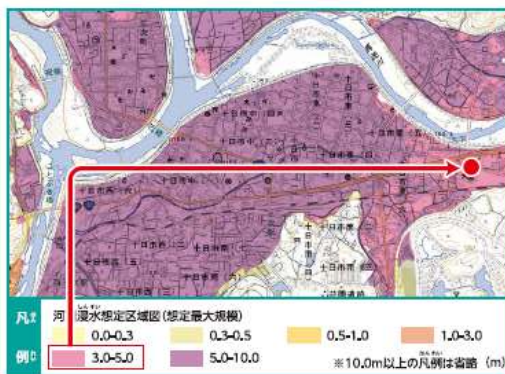
### 演習3 >>> ハザードマップの詳しい読み取り方(洪水)

出題のねらい 洪水のハザードマップの読み取り方を理解する。

解答

下は、三次市周辺のハザードマップです。ハザードマップ内の●の場所では想定最大規模の大雨が降った場合に、どのような浸水の危険性があると読み取れますか。

正しいものを、次の①～⑤までの中から、1つ選びなさい。



☐ ① 浸水深5.0m～10.0mの危険性がある。

☒ ② 浸水深3.0m～5.0mの危険性がある。

3.0-5.0

☐ ③ 浸水深1.0m～3.0mの危険性がある。

☐ ④ 浸水深0.5m～1.0mの危険性がある。

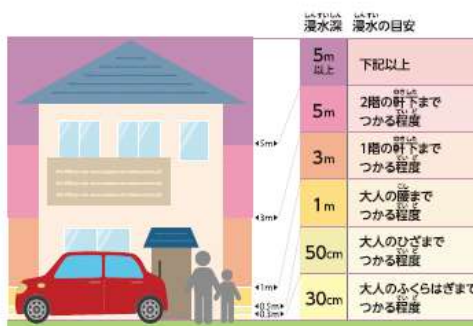
☐ ⑤ 浸水の危険性は示されていない。

解説

● 洪水(外水氾濫)の危険性は、浸水する深さに応じて色分けされています。凡例を確認すると、●で示された場所は想定最大規模の降雨時には浸水深3.0m～5.0mの危険性があると読み取れます。

覚えて  
おこう!

● 浸水の場合は、浸水の深さや家屋の頑丈さなどを考えて、避難所などへの立ち退き避難が必要なのか、2階以上の部屋に避難(屋内安全確保)すべきなのかを、判断しよう。



## 演習4 解説

### 演習4 >>> 避難先や避難経路の考え方

出題のねらい 避難先や避難経路を考えるときに重要なことを理解する。

#### 解答

避難先や避難経路(どの道を通って避難するか)を決めるために適切な考え方はどれですか。

次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 避難先や避難経路は、日頃から家族などで話し合い、決めておくことが重要である。
- ☐ ② 避難先を決めるときには、自宅から最も近い場所を選ぶことが重要である。
- ☒ ③ 避難所に限らず、安全な場所にある知り合いや親戚の家に避難することも有効である。
- ☐ ④ 早く避難先に着くためには、大雨が降り続いていても、近道である川沿いの道を通して避難するのがよい。
- ☒ ⑤ 避難経路は、使えなくなる場合を想定して、複数決めておくのがよい。

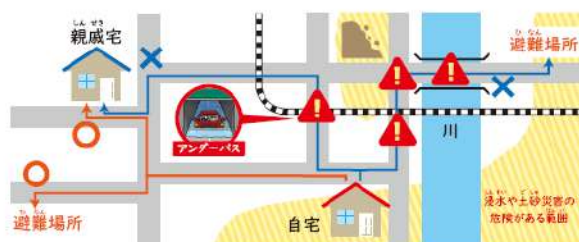
#### 解説

ここが間違い！

- ② 避難先は、「自宅から最も近い場所」が最適とは限りません。ハザードマップなどで安全な避難経路を確認して決めましょう。
- ④ 大雨が降り続けているときは川の増水が考えられるので、「川沿いの道を通して避難する」ことは危険です。

#### 覚えておこう！

- 避難先や避難経路は、災害が起こりそうになってから考えるのではなく、日頃から家族などで話し合っておく。
- 避難先は、自治体(市町)が指定している避難所や安全な場所にある知り合いや親戚の家など、2か所以上決めておく。
- 複数の避難経路を決めておく。  
 (大雨が降ったときに避けたほうがよい場所  
 ・橋や川沿いの道  
 ・がけの近く  
 ・アンダーパスや地下道などの低い場所 など)



川を越えた先の避難場所は行くまでに危険な箇所がいくつかあるな。



親戚の家が親戚の家の近くの避難場所が安全な。

## 実践1 解説

じっせん 実践1 >>> 自宅の災害の危険性を調べてみましょう

### 解説

#### 調べてみよう！

普段の自分の行動をふり返りながら、自宅だけでなく、学校や自分がよく行く場所の災害の危険性なども確認しておきましょう。

さらに、家族などの職場や、祖父母や親戚の家などの災害の危険性も調べて、「どこに」「どのような」災害の危険性があるか、確認してみましょう。

#### 調べたことをいかそう！

- 災害の危険性を調べてみて、どのようなことを感じたか
  - 災害の危険性を知って、災害に対しての意識がどう変わったか
  - 災害から身を守るにはどうしたらよいか
- などについてグループで話し合い、自分の考えを広げてみましょう。



あらかじめ災害の危険性を  
知っていれば、災害が起こる前に、  
いろいろな対策を  
取っておくことができるね！





## 実践2 解説

実践2 >>> あなたの避難先を考えてみましょう

### 解説

- 最初に決めていた避難先が混雑していて避難できなかつたり、避難経路が使えなくなったりする場合を考えて、避難先は2か所以上決めておきます。
- ハザードマップを確認して、自宅に災害の危険性がない人は、自宅を避難先にしてかまいません。また、頑丈な集合住宅の高層階に住んでいる人も、土砂災害の場合以外は自宅を避難先にすることが可能です。自宅を避難先にする人は、万が一、自宅にすることができなくなった場合の避難先を、2つ目の避難先として決めておきましょう。



## 単元③ 身を守る情報を知って行動しよう！

### 演習1

演習1 >>>

演習2 >>>

実践 >>>

終了

警戒レベルと避難情報

#### 問題

自治体(市町)から出される避難情報は、警戒レベルと対応しています。警戒レベル3～5は、それぞれの避難情報が出された段階と対応していますか。

適切な組み合わせにチェックを入れなさい。

	避難情報 高齢者等避難 が出された段階	避難情報 緊急安全確保 が出された段階	避難情報 避難指示 が出された段階
警戒レベル5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
警戒レベル4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
警戒レベル3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

解答

解説

を見る

## 単元③ 身を守る情報を知って行動しよう！

### 演習2

演習1 >>>

演習2 >>>

実践 >>>

終了

避難情報の正しい見方

#### 問題

避難情報の内容について詳しく説明した次の①～③の文のうち、適切なものをすべて選びなさい。

- ☐ ① 警戒レベル3「高齢者等避難」とは、避難に時間がかかる人(高齢者、障がいのある人、乳幼児や妊婦など)とその支援者に、避難を促す情報である。
- ☐ ② 警戒レベル4「避難指示」とは、危険な場所にいる人に対して、危険な場所からの全員避難の行動を促す情報である。
- ☐ ③ 警戒レベル5「緊急安全確保」が発令された場合は、危険な場所にある家にいる人は外に出て、避難先へ避難する必要がある。

解答

解説

を見る

## 実践

演習1 >>>

演習2 >>>

実践

終了

あなたの避難開始のタイミング

### マイ・タイムライン作成ステップ③

あなたや家族は、どの警戒レベルで避難を開始しますか。

単元②の【マイ・タイムライン作成ステップ②】で決めた避難先に避難するには、どれくらいの時間がかかるかを考えて書きましょう。

#### ココがポイント！

#### 〈避難のタイミングを考えると〉

- ・家族の構成や住んでいる場所などの状況によって、警戒レベル3・4のどちらかで避難するかを考えましょう。
- ・避難にかかる時間は、大雨が降っている中の避難を想定しましょう。いつもは10分程度で行ける場所でも、20～30分かかるとあるかもしれません。
- ・自宅を第1の避難先にしている人は、もう1つの避難先に避難するときのことを考えてみましょう。

#### 警戒レベル3



#### 警戒レベル4



#### 記入例

- ・家族全員で避難する例  
警戒レベル4で家族全員避難(徒歩で10分)
- ・家族の中でタイミングを分けて避難する例  
警戒レベル3で祖父・父が避難(車で5分)、警戒レベル4で母・私・弟が避難(徒歩で20分)

解説を見る

## 演習1 解説

### 演習1 >>> 警戒レベルと避難情報

出題のねらい 警戒レベルと避難情報の対応を理解する。

#### 解答

自治体(市町)から出される避難情報は、警戒レベルと対応しています。警戒レベル3～5は、それぞれの避難情報が出された段階と対応していますか。

適切な組み合わせにチェックを入れなさい。

	避難情報 高齢者等避難 が出された段階	避難情報 緊急安全確保 が出された段階	避難情報 避難指示 が出された段階
警戒レベル5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
警戒レベル4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
警戒レベル3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

#### 解説

- 避難情報は、自然災害が起こりそうなときに、住民に安全な場所への避難を促すために住んでいる自治体(市町)が発令するものです。
- 危険な場所にいる避難に時間のかかる人やその支援者は警戒レベル3「高齢者等避難」で避難を開始し、その他の人も警戒レベル4「避難指示」で避難を開始します。

警戒レベルごとの  
避難情報の詳細については、  
このあとの演習2で  
詳しく学習します。





## 演習2 解説

### 演習2 >>> 避難情報の正しい見方

出題のねらい 避難情報の詳しい内容(取るべき行動)を理解し、避難のタイミングを考える。

#### 解答

避難情報の内容について詳しく説明した次の①～③の文のうち、適切なものをすべて選びなさい。

- ☒ ① 警戒レベル3「高齢者等避難」とは、避難に時間がかかる人(高齢者、障がいのある人、乳幼児や妊婦など)とその支援者に、避難を促す情報である。
- ☒ ② 警戒レベル4「避難指示」とは、危険な場所にいる人に対して、危険な場所からの全員避難の行動を促す情報である。
- ☐ ③ 警戒レベル5「緊急安全確保」が発令された場合は、危険な場所にある家にいる人は外に出て、避難先へ避難する必要がある。

#### 解説

	住民が取るべき行動	避難情報など
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難		
警戒レベル4	危険な場所から全員避難	避難指示
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
警戒レベル2	自らの避難行動を確認	大雨注意報・洪水注意報・高潮注意報
警戒レベル1	災害への心構えを高める	早期注意情報

※出典：『ひろしまマイタイムライン作成ガイド』広島県

危険な場所にいる人は、警戒レベル3 か 警戒レベル4 で、必ず避難!

警戒レベル3で避難を開始する人は、高齢者、障がいのある人、乳幼児や妊婦など避難に時間がかかる人です。これらの人だけでなく、その支援者も、このタイミングでの避難を開始します。

また、「土砂災害特別警戒区域」など、著しく危険性の高い場所にいる人も、警戒レベル3で避難を開始しましょう。



家族や近所の人の中で、警戒レベル3で避難を始める必要がある人はいるかな?



#### ここが間違い!

- ③ 警戒レベル5「緊急安全確保」が出されたときは、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。万が一、逃げ遅れてしまった場合は、直ちに山から離れた2階以上の部屋に移動するなど、少しでも土砂災害などから命を守る行動を取る必要があります。

実践  
解説

実践 >>> あなたの避難開始のタイミング

解説

- 避難のタイミングは次のとおりです。家族の構成や住んでいる場所などに当てはめて決めておきましょう。

避難に時間のかかる人やその支援者  
(高齢者、障がいのある人、乳幼児や妊婦など)  
「土砂災害特別警戒区域」など、  
著しく危険性の高い場所にいる人

警戒  
レベル 3

その他の人

警戒  
レベル 4

- 自分や家族と決めた警戒レベルに避難を開始するため、**防災**  
気象情報や避難情報をどこから入手したらよいのかを、日頃から  
考えておきましょう。

避難を開始する  
タイミングは、  
みんなが同じとは  
限らないんだ。



動画に出てくるQRコードを  
実際に読みこんでみよう！



## 単元④ 災害への備えをしよう！

### 演習1

演習1 >>>

演習2 >>>

実践1 >>>

実践2 >>>

終了

日頃からの備え(非常持出品・備蓄品)

#### 問題

非常持出品や備蓄品の説明として適切なものを、次の①～④までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 非常持出品や備蓄品をそろえたあとは、定期的に点検することが必要である。
- ☐ ② 非常持出品や備蓄品は、家族構成に応じて用意するものを考える必要がある。
- ☐ ③ 備蓄品として、日頃から食べているカップラーメンや缶詰を多めに買って備えてもよい。
- ☐ ④ 大雨による災害の危険性がない場所に住んでいる場合は、非常持出品と備蓄品を用意する必要はない。

解答

解説

を見る

## 単元④ 災害への備えをしよう！

### 演習2

演習1 >>>

演習2 >>>

実践1 >>>

実践2 >>>

終了

災害の危険が間近に迫ったときの行動や準備

#### 問題

災害の危険が間近に迫ったときの行動や準備として適切なものを、次の①～④までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 防災気象情報や避難情報を見逃さないために、スマートフォンやテレビで最新情報を入手する。
- ☐ ② 警戒レベル4までの間に避難準備をし、警戒レベル5が出たら、急いで避難する。
- ☐ ③ 市町の指定する避難所や避難場所へ避難する場合は、市町のWebサイトなどから開設状況を確認する。
- ☐ ④ 非常持出品袋などを用意しながら、スマートフォンを充電する。

解答

解説

を見る

# 実践1

演習1

演習2

ひっせん  
実践1

ひっせん  
実践2

終了

あなたや家族に必要な非常持出品を考えてみましょう

以下の内容を参考にしながら、あなたや家族にとって必要な非常持出品を選び、記入しましょう。その他にも、準備したほうがよいと思うものがあれば、書き出しましょう。

〈 まずはこれを用意しよう! 〉



家族構成などによって必要性が異なるものについては、以下のWebサイトを参考に書き出してみよう。

■広島県「みんなで減災」ははじめの一步>>>防災グッズ一覧

<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/prepare/goods.html>



ヒント

乳幼児や高齢者、  
ペットなどがいる家庭は  
それぞれに必要なものは何かを  
考えてみよう。



解説を見る

## 実践2

演習1 >>>

演習2 >>>

実践1 >>>

実践2 >>>

終了

命を守るために日頃からできること

### マイ・タイムライン作成ステップ ④

土砂災害や浸水災害から命を守るために、あなたが日頃から準備したり行動したりできることは何ですか？ 考えられることをすべて、以下に記入しましょう。  
例)ハザードマップを確認して、自宅の災害の危険性を把握する。

ヒント

自分1人でできることだけでなく、  
地域の人といっしょにできることにも  
目を向けてみよう。



解説を見る

## 演習1 解説

### 演習1 >>> 日頃からの備え(非常持出品・備蓄品)

出題のねらい 非常持出品や備蓄品の備えについて理解する。

#### 解答

非常持出品や備蓄品の説明として適切なものを、次の①～④までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 非常持出品や備蓄品をそろえたあとは、定期的に点検することが必要である。
- ☒ ② 非常持出品や備蓄品は、家族構成に応じて用意するものを考える必要がある。
- ☒ ③ 備蓄品として、日頃から食べているカップラーメンや缶詰を多めに買って備えてもよい。
- ☐ ④ 大雨による災害の危険性がない場所に住んでいる場合は、非常持出品と備蓄品を用意する必要はない。

#### 解説

### 《 非常持出品と備蓄品 》

非常持出品とは、**安全に避難するために必要最低限持ち出すもの**。リュックサックに入る程度の分量を事前に詰めておき、避難する際に持って行く。

備蓄品とは、**ライフラインや物流が止まったときのため、家などに備えておくもの**。

- 非常持出品や備蓄品は、定期的に必要なものを見直し、食料品の賞味期限などを点検します。
- 非常持出品や備蓄品は、乳幼児や高齢者がいる家庭、ペットを飼っている家庭など、**家族構成によって変わります**。
- 日常生活で備蓄品を使いながら使った分を買い足すことを、**ローリングストック**といいます。日頃から食べているカップラーメン、缶詰などを備えておけば、災害時でも日常生活に近い食生活を送ることができます。

#### 備蓄の目安

家族の人数×最低3日分

※できれば1週間分を備えましょう



#### ローリングストックをして上手に備えよう！



#### ローリングストックのポイント

- 費用、時間の面で普段の買い物の範囲でできる
- 買い置きスペースを少し増やすだけで済む

#### ここが間違え!!

- ④ 大雨による災害の危険性がない場所に住んでいる場合でも、**ライフライン**や物流が止まったり、地震などで災害が発生したりした際には、非常持出品や備蓄品が必要となることがあります。



## 演習2 解説

### 演習2 >>> 災害の危険が間近に迫ったときの行動や準備

出題のねらい 災害の危険が間近に迫ったときに、取るべき行動を理解する。

#### 解答

災害の危険が間近に迫ったときの行動や準備として適切なものを、次の①～④までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 防災気象情報や避難情報を見逃さないために、スマートフォンやテレビで最新情報を入手する。
- ☐ ② 警戒レベル4までの間に避難準備をし、警戒レベル5が出たら、急いで避難する。
- ☒ ③ 市町の指定する避難所や避難場所へ避難する場合は、市町のWebサイトなどから開設状況を確認する。
- ☒ ④ 非常持出品袋などを用意しながら、スマートフォンを充電する。

#### 解説

① 雨の状況や周辺環境は一刻と変化します。スマートフォンやテレビなどで常に防災気象情報などの最新情報を入手して、適切なタイミングで避難できるようにしておきます。

③ 市町の指定する避難所や避難場所へ避難する場合は、市町のWebサイトなどで開設状況を確認してから避難します。

④ 情報収集・連絡手段としてスマートフォンは重要なツールです。家の戸締まりや非常持出品袋などを準備しているときに、スマートフォンやモバイルバッテリーを充電します。



#### まぢが ここが間違い!

② 危険な場所にいる人は「警戒レベル4」までに、必ず全員が避難しなければなりません。

覚えて  
おこう!

- 非常持出品袋は日頃から用意しておき、誰がどの袋を持つかを決めておこう。
  - 市町の指定する避難所や避難場所へ避難する場合は、市町のWebサイトなどで開設状況を確認してから避難しよう。
- ※ハザードマップに避難場所の開設される順番が示されている場合があります。



## 実践1 解説

実践1 >>> あなたや家族に必要な非常持出品を考えてみましょう

### 解説

非常持出品は、**家族構成や持ち出せる荷物量※などで、用意するものが変わります**。今回、記入したものの以外にも必要なものがあるかもしれません。自分たちに必要なものは何かを、家族などで話し合しましょう。

そして、必要なものをまだ備えていない場合は、買い足すなどして災害に備えましょう。

※非常持出品袋の重さの目安…男性は約15kg、女性は約10kg



## 実践2 解説

じっせん 実践2 >>> 命を守るために日頃からできること

### 解説

#### 記入例

- ・ハザードマップを確認し、自宅や地域の災害の危険性を把握する。
- ・非常持出品（食料品、飲料水、救急セット、懐中電灯、防寒具など）を用意する。
- ・避難経路と避難場所を確認する。
- ・災害が起きたことを想定して、家族との連絡手段を決めておく。
- ・地域の防災訓練に参加する。
- ・日頃から、近所の人と挨拶をする。 など

命を守るために日頃からできる準備や行動には、「自助」と「共助」があります。

#### ● 自助

**自らの命は自分で守ること。**

例えば、ハザードマップを確認して自宅周辺の災害の危険性を把握したり、非常持出品を用意したりしておくことで、災害時に適切な避難行動ができるようになります。

「自助」「共助」に  
「公助」を加えた3つについては、  
単元⑤で詳しく学習します。



#### ● 共助

**地域や身近にいる人同士が助け合うこと。**

例えば、地域の防災訓練に参加したり、近所の人と挨拶をしたりすることで、災害時に地域の人たちと協力して避難の呼びかけや応急救護などを実践することができます。

#### ステップアップ

夜に大雨が降りそうときや、家で1人である際に災害が起こりそうときを想定してみよう。このような場合に備えてできる準備や行動についても、自分で考えたり、家族などと話し合ったりしておこう。

>>> 単元⑥ 大雨警報が出たらどうする？～シミュレーション課題～  
に取り組もう！

## 単元⑤ 防災対策における3つの主体と役割を理解しよう！

### 演習1

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

実践 >>>

終了

行政が取り組む「公助」

#### 問題

防災対策における「公助」の説明として適切なものを、次の①～④までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 行政は、土砂災害や浸水(洪水・内水氾濫)災害などに備えて、砂防堰堤の建設や河川改修を行っている。
- ☐ ② 公助は、住民一人一人、または地域全体で自主的に行う防災・減災対策のことである。
- ☐ ③ 防災対策は、これまで以上に公助を中心に行っていくべきである。
- ☐ ④ 人命救助や災害派遣活動の支援は公助の1つである。

解答

解説

を見る

## 単元⑤ 防災対策における3つの主体と役割を理解しよう！

### 演習2

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

実践 >>>

終了

助け合いの「共助」

#### 問題

防災対策における「共助」に関する行動の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 地域の人たちとまち歩きをして、地域や自宅に想定される災害の危険性を把握する。
- ☐ ② 地域の防災訓練に参加し、地域全体で適切な避難行動などを確認する。
- ☐ ③ 災害の危険が迫ったときに、親戚や近所の人などに避難の呼びかけをする。
- ☐ ④ 自分がいつ避難するべきかを、市(区町)役所に問い合わせる。
- ☐ ⑤ 物資の配布や掃除などを手伝うことで、避難所の運営に協力する。

解答

解説

を見る

## 演習3

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

実践 >>>

終了

一人一人が取り組む「自助」

### 問題

防災対策における「自助」に関する行動や説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① ハザードマップで、自分が暮らす地域の災害の危険性を確認する。
- ☐ ② 家族などがいっしょにいないときのことを考えて、災害の危険が迫ったときの連絡方法について確認する。
- ☐ ③ 自分や家族に必要な非常持出品を1度そろえたあとは、中身の確認をしなくてもよい。
- ☐ ④ マイ・タイムライン(自らの防災行動計画)を作れば、災害の危険が迫ったときの避難行動に役立てることができる。
- ☐ ⑤ 災害の危険が迫ったときを想定した実践的な行動を身につけるため、地域の防災訓練に繰り返し参加する。

解答

解説

を見る

実践

演習1

演習2

演習3

じっせん  
実践

終了

【考えてみよう！】どのように避難を呼びかける？

考えてみよう！

次のような状況で、あなたは近所に住んでいる高齢者（Aさん）に、どのように避難の呼びかけをしますか？ 記入しましょう。

状況設定

- 警戒レベル3「高齢者等避難」が出たので、あなたは、近くの小学校に避難することになりました。
- 雨はこの先も降り続く予報になっています。今後、災害が起きるかもしれません。
- 近所に住んでいる高齢者（Aさん）とは、日頃から挨拶をしたり、話をしたりしています。
- 高齢者（Aさん）は1人暮らしをしています。現在、警戒レベル3「高齢者等避難」が出ていることには気づいていないようです。

ステップアップ

考えた内容をグループで共有し、印象に残ったことや感じたことなどを伝え合ってみましょう。



ヒント

どのような言葉をかけたら、避難を考えてくれるかな？



記入例

「Aさん、警戒レベル3が出ているので、私は近くの小学校に避難します。いっしょに避難しませんか？」

解説を見る



## 演習1 解説

### 演習1 >>> 行政が取り組む「公助」

出題のねらい 「公助」の役割について理解する。

#### 解答

防災対策における「公助」の説明として適切なものを、次の①～④までのの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 行政は、土砂災害や浸水(洪水・内水氾濫)災害などに備えて、砂防堰堤の建設や河川改修を行っている。
- ☐ ② 公助は、住民一人一人、または地域全体で自主的に行う防災・減災対策のことである。
- ☐ ③ 防災対策は、これまで以上に公助を中心に行っていくべきである。
- ☒ ④ 人命救助や災害派遣活動の支援は公助の1つである。

#### 解説

公助とは、**国、県や市町、消防や警察などの行政が住民の安全と安心を確保するために行う取り組みのこと**で、「**ハード対策**」と「**ソフト対策**」があります。

#### ● ハード対策

土砂災害や浸水(洪水・内水氾濫)災害などの自然災害を防ぐための施設整備や改修工事

##### ハード対策の例



砂防堰堤(土石流対策)



急傾斜地崩壊防止施設  
(がけ崩れ対策)



河川改修(洪水対策)



排水機場(内水氾濫対策)

#### ● ソフト対策

ハザードマップの作成や避難所などの指定、備蓄品の整備、人命救助・災害派遣活動の支援など

#### ここが間違えい!

- ③ 平成30(2018)年7月豪雨災害では、**砂防堰堤が土砂や木を食い止める等、ある程度被害を抑えることができていた場所もありましたが、想像を超える大雨で、すべての被害を防ぐことはできませんでした。**

また、大きな災害が起きたときは、被害にあう人が多く出ます。**救助などをする人手が不足した場合、すべての被害者の救助や救援は困難です。**

そのため、これからは「公助」だけでなく、**自分や家族の命を守る「自助」、地域やコミュニティといった周囲の人たちと助け合って命を守る「共助」に取り組むことが、とても重要です。**

## 演習2 解説

### 演習2 >>> 助け合いの「共助」

出題のねらい 「共助」に関する行動について理解する。

#### 解答

防災対策における「共助」に関する行動の説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 地域の人たちとまち歩きをして、地域や自宅に想定される災害の危険性を把握する。
- ☒ ② 地域の防災訓練に参加し、地域全体で適切な避難行動などを確認する。
- ☒ ③ 災害の危険が迫ったときに、親戚や近所の人などに避難の呼びかけをする。
- ☐ ④ 自分がいつ避難するべきかを、市(区町)役所に問い合わせる。
- ☒ ⑤ 物資の配布や掃除などを手伝うことで、避難所の運営に協力する。

#### 解説

「共助」とは、**地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと**です。

日頃から避難訓練、清掃やお祭りなどの地域行事に参加して地域の人たちとコミュニケーションを図り、災害の危険が迫ったときに避難を呼びかけ合ったり、協力し合ったりして命を守ることが重要です。

#### ここが間違い!

- ④ 自分がいつ避難するべきかを考えることは、「自助」にあたります。**避難するタイミングは、一人一人違います。**警戒レベル3と4のどちらで避難をするかは、家族などで話し合って決めましょう。

避難のタイミングは  
単元3で詳しく学びます



## 演習3 解説

### 演習3 >>> 一人一人が取り組む「自助」

出題のねらい 「自助」に関する行動や役割について理解する。

#### 解答

防災対策における「自助」に関する行動や説明として適切なものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① ハザードマップで、自分が暮らす地域の災害の危険性を確認する。
- ☒ ② 家族などがいっしょにいないときのことを考えて、災害の危険が迫ったときの連絡方法について確認する。
- ☐ ③ 自分や家族に必要な非常持出品を1度そろえたあとは、中身の確認をしなくてもよい。
- ☒ ④ マイ・タイムライン(自らの防災行動計画)を作れば、災害の危険が迫ったときの避難行動に役立てることができる。
- ☒ ⑤ 災害の危険が迫ったときを想定した実践的な行動を身につけるため、地域の防災訓練に繰り返し参加する。

#### 解説

「自助」とは、**自分や家族の命を守ること**です。

災害が起きたときに、すぐに救助隊などの助けが来るとは限りません。

自分や家族の命を守れるかどうかは、日頃からしっかり備えを行っているか、災害の危険が迫ったときに適切な行動が取れるかがカギになります。

災害から自分や家族の命を守るために、次のようなことを考えておきましょう。



ハザードマップで  
災害の危険性を確認する



災害の危険が迫ったときの  
連絡方法を確認する



非常持出品や備蓄品の  
用意、定期的な確認をする



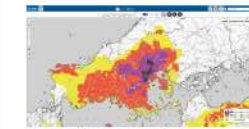
避難のタイミングを考える



ペットを飼っている場合は、  
ペットの受け入れ対応や  
ペット同行可能な避難所を  
確認しておく



マイ・タイムラインの  
作成や見直しをする



気象庁のWebサイト「キキグル」などの  
使い方や、雨雲レーダーなどの  
見方に慣れておく



防災訓練に繰り返し参加し、防災意識を  
向上させたり、災害の危険が迫ったときを  
想定した実践的な行動を  
身につけたりしておく

#### ここが間違え!!

- ③ 非常持出品を1度用意したあとも、**定期的に賞味期限を確認したり、その他に必要なものがないかを確認したりする必要があります。**



実践  
解説

じっせん  
実践

>>>【考えてみよう!】どのように避難を呼びかける？

解説

記入例

- ・「Aさん、警戒レベル3が出ています。この先も雨が降り続くようですから、このまま自宅にいるのは危険です。避難先は決めていますか？ もし決まっていなければ、私と一っしょに避難しましょう。」
- ・「Aさん、警戒レベル3の避難情報が出ているのを知っていますか？ お！一人で避難するのが難しいなら、私と一っしょに避難しませんか？」
- ・「Aさん、避難情報が出ているのを知っていますか？ ここは昔、被害があったと聞いたことがあるので、私と一っしょに近くの小学校へ避難しませんか？ そして、避難することを伝えるべき人はいませんか？」

家族や親戚、顔見知りの人からの避難の呼びかけは、避難につながり、有効であることがわかっています。災害の危険が迫ったときには、あなたの可能な範囲で、家族や親戚、近所の人などに避難を呼びかけましょう。

また、

- 近所に体が不自由な方がいる場合は、荷物を持つなどの手伝いをしながら一っしょに避難する
- 自分1人しか家にいない場合には、地域の人をお願いして、一っしょに避難してもらう

など、お互いに助け合って避難できるように、日頃から地域の人たちとのつながりを築いておきましょう。

考えたことをいかそう!

- 避難の呼びかけを考えてみて、どのようなことを感じたか
- 実際に災害の危険が迫ったとき、地域の誰に、どのような避難の呼びかけをしたらよいか
- 地域とのつながりを築くために、どのようなことをしたらよいかなどについてグループで話し合い、自分の考えを広げてみましょう。



単元⑥《応用》大雨警報が出たらどうする？～シミュレーション課題～

演習1

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> 終了

自宅に安全に帰るための行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習 ①	演習 ②	演習 ③	演習 ④	演習 ⑤
自宅周辺の環境	● 近くには川とがけがある(洪水とがけ崩れの危険性がある。) ● 自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている				
防災気象情報や避難情報など	なし 大雨が降り始める	大雨警報	大雨警報 + 警戒レベル 3 土砂災害警戒	行動A 大雨警報 + 警戒レベル 3 土砂災害警戒	行動B 大雨警報 + 警戒レベル 4 土砂災害警戒
あなたの状況	外出先から自宅へ	家に1人きり	自宅待機または避難	避難先へ	避難所

考えてみよう!

あなたは、外出先から自宅に帰ることになりました。途中で、大雨が降ってきました。自宅まで安全に帰るためには、どのような行動を取ればよいですか。また、どのような点に気をつければよいですか。記入しましょう。

実際に、自宅の周辺に災害の危険性がある人は、危険な場所を思い浮かべて記入しよう!

解説を見る



## 演習2

演習1 >>> **演習2 >>>** 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> **終了**

自宅に1人での行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況<sup>じょうきょう</sup>に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》<sup>じょうきょう</sup>の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習1	演習2	演習3	演習4	演習5
自宅周辺の環境		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くには川とがけがある(洪水とがけ崩れの危険性がある。)</li> <li>● 自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている</li> </ul>			
防災気象情報や避難情報など	なし 大雨が降る前	大雨警報 避難情報	警報 レベル3 避難を要する	行動A 大雨警報 警報 レベル3 避難を要する	行動B 大雨警報 警報 レベル4 避難を要する
あなたの状況	外出先から自宅へ	自宅に1人きり	自宅待機または避難	避難先へ	避難所

### 問題

大雨が降る中、あなたは自宅に帰りました。自宅には、あなた1人しかいません。

大雨警報が発表されましたが、まだ、避難<sup>ひなん</sup>情報は出ていません。

このような状況<sup>じょうきょう</sup>で、今、あなたが取るべき行動として誤<sup>あやま</sup>っているものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 今後の雨の降り方などを知るため、スマートフォンやテレビで気象情報をチェックする。
- ☐ ② 防災バッグを用意し、中に入っている非常持出品を確認する。
- ☐ ③ 自宅周辺の雨の降り方や、今の自分の状況<sup>じょうきょう</sup>を家族などに連絡<sup>れんらく</sup>する。
- ☐ ④ 食料が少なかったなので、スーパーマーケットへ買い物に出かける。
- ☐ ⑤ 川があふれるかどうか心配なので、確認に行く。

《状況設定》の、  
「自宅周辺の環境」にも  
注目して考えよう!

解答 解説 を見る



## 演習3

演習1

演習2

演習3

演習4

演習5

終了

避難行動を取るタイミング別の行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習①	演習②	演習③	演習④	演習⑤
自宅周辺の環境	●近くには川とがけがある(洪水とがけ崩れの危険性がある。) ●自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている				
防災気象情報や避難情報など	なし 大雨が降り始める	大雨警戒	大雨警戒 + 警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル3 高齢者等避難 + 大雨警戒 + 警戒レベル4 避難指示	
あなたの状況	外出先から自宅へ	自宅に1人きり	自宅待機または避難	避難先へ	避難所

### 考えてみよう!

警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されました。

あなたはどのような行動を取りますか。行動A・行動Bのどちらかを選びなさい。

(この問題は、どちらを選んでもかまいません。)

実際に、自宅に災害の危険性がある場合は、自宅の周辺を思い浮かべて行動を考えよう!



☐ **行動A** 1人で安全に避難できると思う。

大雨警戒と警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたので、1人ですぐに避難する。

☐ **行動B** 警戒レベル4「避難指示」が発令されるまでは、家にいても大丈夫だと思う。

警戒レベル4「避難指示」が出るまでは、自宅に残って様子を見る。

次の問題へ

## 演習3-A

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3-A >>>

演習4 >>>

演習5 >>>

終了

1人で避難するときの行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習 ①	演習 ②	演習 ③	演習 ③-A	演習 ④
自宅周辺の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くには川とがけがある（洪水とがけ崩れの危険性がある。）</li> <li>● 自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている</li> </ul>				
防災気象情報や避難情報など	なし 大雨警報に警戒	大雨警報	大雨警報 + 警戒レベル 3 土砂災害等危険	大雨警報 + 警戒レベル 3 土砂災害等危険	
あなたの状況	外出先から自宅へ	自宅に1人きり	避難	避難先へ	避難所

### 考えてみよう！

あなたは、1人ですぐに避難することになりました。

しかし、早めに避難するとしても、じゅうぶんな準備をしていない場合は、危険を伴うことがあります。1人で安全に避難するためには、どのようなことを準備しておけばよいですか。記入しましょう。

解説を見る

## 演習3-B

演習1 >>> 演習2 >>> **演習3-B >>>** 演習4 >>> 演習5 >>> **終了**

自宅に残って様子を見るとききの行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習 ①	演習 ②	演習 ③	演習 ④～⑤	演習 ⑥
自宅周辺の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くには川とがけがある(洪水とがけ崩れの危険性がある。)</li> <li>● 自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている</li> </ul>				
防災気象情報や避難情報など	なし 大雨が降り始める	大雨警報	大雨警報 + 警戒レベル3 土砂災害警戒	行動中 警戒レベル4 避難指示	
あなたの状況	外出先から自宅へ	自宅に1人きり	自宅待機	避難先へ	避難所

### 考えてみよう!

あなたは、警戒レベル4「避難指示」が出るまでは、自宅に残って様子を見ることにしました。

しかし、大雨が降り続けているため、警戒レベル4「避難指示」がいつ発令されてもおかしくない状況です。

このような状況で安全を確保するためには、どのような行動を取ればよいですか。日頃からの備えに関することも含めて記入しましょう。

**解説** を見る

## 演習4-A

演習1

演習2

演習3

演習4-A

演習5

終了

避難所まで安全に避難するための行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習1	演習2	演習3	演習4-A	演習5
自宅周辺の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くには川とがけがある（洪水とがけ崩れの危険性がある。）</li> <li>● 自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている</li> </ul>				
防災気象情報や避難情報など	なし 大雨が降り始める	大雨警報	大雨警報 + 警戒レベル3 土砂災害警戒	大雨警報 + 警戒レベル3 土砂災害警戒	
あなたの状況	外出先から自宅へ	自宅に1人きり	避難	避難先へ	避難所

### 考えてみよう！

警戒レベル3「高齢者等避難」が出ています。避難準備が完了したので、あなたは自宅から避難することにしました。避難先まで安全に避難するためには、どのような行動を取れば良いですか。また、どのような点に気をつければ良いですか。記入しましょう。

実際に、自宅の周辺に災害の危険性がある人は、危険な場所を思い浮かべて記入しよう！



#### ヒント

避難経路だけでなく、避難する時間帯や服装なども考えてみるといいね。



解説を見る



## 演習4-B

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> **演習4-B >>>** 演習5 >>> **終了**

避難所まで安全に避難するための行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習 ①	演習 ②	演習 ③	<b>演習 ④-B</b>	演習 ⑤
自宅周辺の環境				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くには川とがけがある（洪水とがけ崩れの危険性がある。）</li> <li>● 自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている</li> </ul>	
防災気象情報や避難情報など	なし	大雨警報	大雨警報 + 警戒レベル3	大雨警報 + 警戒レベル4	
あなたの状況	外出先から自宅へ	自宅に1人きり	自宅待機	避難先へ	避難所

### 考えてみよう！

警戒レベル4「避難指示」が出たため、あなたは自宅から避難することになりました。

避難先まで安全に避難するためには、どのような行動を取れば良いですか。また、どのような点に気をつければ良いですか。記入しましょう。

実際に、自宅の周辺に災害の危険性がある人は、危険な場所を思い浮かべて記入しよう！



#### ヒント

避難経路だけでなく、避難する時間帯や服装なども考えてみるといいね。



**解説** を見る

## 演習5

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> 終了

避難所での行動

この単元では、大雨が降り始めてから刻々と変化する状況に応じて、あなたがどのように行動するかをシミュレーションしていきます。以下の《状況設定》の各段階で、「自分だったらどうするか？」を考えてみましょう。

《状況設定》	演習①	演習②	演習③	演習④	演習⑤
自宅周辺の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近くには川とがけがある（洪水とがけ崩れの危険性がある。）</li> <li>● 自宅は「土砂災害警戒区域」に入っている</li> </ul>				
防災気象情報や避難情報など	なし 大雨が降り始める	大雨警報	大雨警報 + 警戒レベル3 土砂災害警戒	行動A 大雨警報 + 警戒レベル3 土砂災害警戒	行動B 大雨警報 + 警戒レベル4 土砂災害警戒
あなたの状況	外出先から自宅へ	自宅に1人きり	自宅待機または避難	避難先へ	避難所

### 問題

あなたは、避難所に着きました。

以下の文章を読み、避難所での行動として誤っているものをすべて選び、☐にチェックを入れなさい。

あなたは、避難所に指定されているA中学校の体育館へ避難しました。まず、あなたは受付で【☐自分の名前と連絡先の登録】を行いました。その際、【☐卵アレルギーがあることを伝える】とともに、持って来た食料や水だけでは不安があったので、【☐自分の食料と水をじゅうぶん確保してもらおうと依頼】しました。

受付後、近くに掲示板を発見しました。避難所のルールやお知らせが貼り出されていたので、【☐避難所で過ごすためのルールを確認】しました。

その後、決められたスペースに移動して【☐SNSなどを使って、家族や友人などと避難の状況を共有】し、さらに【☐周辺の避難者の方と話したり、避難所にあったラジオを聞いたりして情報収集】を行いました。

しばらくたってから、ペット（小型犬）を連れて避難して来た人を見ました。その人は「ペットも家族なので、体育館に連れて入り、自分と同じ避難スペースで過ごさせたい。」と言っていました。しかし、避難所の運営者は、「屋外別居がルールなのでだめです。」と断っていました。避難して来た人が「どうしてもだめですか？」と悲しそうに言っているのを見て、あなたは、避難所の運営者に【☐「かわいそう。1匹だけなので、ペットといっしょにいさせてあげてもよいのではありませんか？」と発言】しました。

解答 解説 を見る

## 演習1 解説

### 演習1 >>> 自宅に安全に帰るための行動

出題のねらい 自宅まで安全に帰るために、取るべき行動や注意する点を考えることができる。

#### 解説

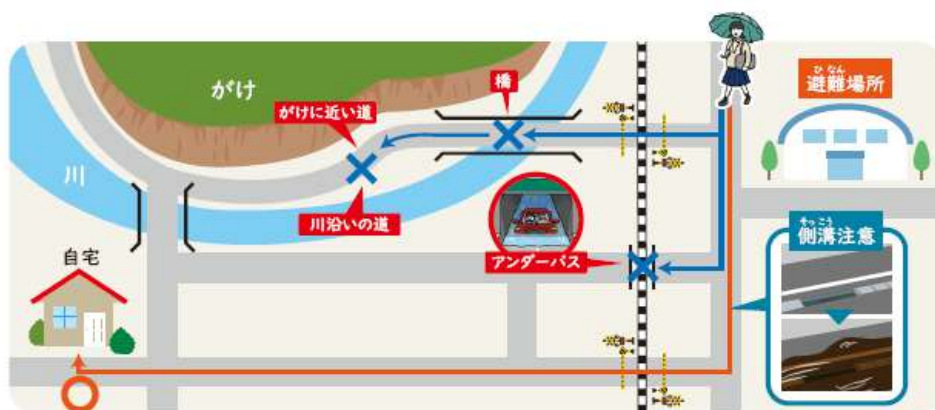
##### 記入例

- ・がけや川の近くの道を通らない。
- ・水のたまりやすい場所を通らない。
- ・濁った水のたまっている道を通るときは、傘などを使って、ふたのない用水路や側溝などがないかを確認しながら歩く。
- ・少し遠回りになっても、危険な場所を避けて帰宅する。
- ・雨がやんで危険がなくなるまで、安全な場所で待機する。

大雨が降っているときは、危険な場所を避けて帰るようにしましょう。  
 そのためには、**日頃から安全な道を確認しておくこと**が重要です。  
 普段使う道(通学路など)を通るときに、周囲を見渡し、危険な場所がないかを確認してみましょう。

さらに、以下のような場所の危険性に注意しましょう。

- 川沿いの道は、増水したり氾濫したりする危険性がある。
- がけに近い道は、がけ崩れの危険性がある。
- アンダーパスや地下道などの低い場所は、水がたまって通れなくなる可能性がある。
- 道路が濁った水で冠水すると、道路沿いの用水路や側溝は見えなくなり落ちる危険性がある。



単元②を復習しよう!





## 演習2 解説

### 演習2 >>> 自宅に1人での行動

出題のねらい 大雨警報が出て自宅に1人でのときに、取るべき行動を理解する。

#### 解答

大雨が降る中、あなたは自宅に帰りました。自宅には、あなた1人しかいません。

大雨警報が発表されましたが、まだ、避難情報は出ていません。

このような状況で、今、あなたが取るべき行動として誤っているものを、次の①～⑤までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 今後の雨の降り方などを知るため、スマートフォンやテレビで気象情報をチェックする。
- ☐ ② 防災バッグを用意し、中に入っている非常持出品を確認する。
- ☐ ③ 自宅周辺の雨の降り方や、今の自分の状況を家族などに連絡する。
- ☒ ④ 食料が少なかったため、スーパーマーケットへ買い物に出かける。
- ☒ ⑤ 川があふれるかどうか心配なので、確認に行く。

単元④を復習しよう！



#### 解説

- ④ 大雨警報が出ている状況でスーパーマーケットに買い物に出かけるのは、望ましい行動とはいえません。

買い物の行き帰りで被災したり、買い物に行ったために避難が遅れたりする危険性があります。日頃から非常持出品や備蓄品を用意しておきましょう。

- ⑤ 家の近くでも、大雨警報が出ているときに川や用水路などの様子を確認しに行くのは危険です。大雨が降っているときに田んぼや川の様子を確認しに行って亡くなる事例は数多く報告されています。危険な場所には決して近づかないことが大切です。



## 演習3-A 解説

### 演習3-A >>> 1人で避難するときの行動

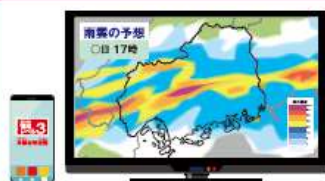
出題のねらい 1人で避難するときに、どのような行動や準備をすればよいかを考えることができる。

#### 解説

警戒レベル3で避難する場合、早めに避難できるというメリットがあります。

しかし、あらかじめ避難するための準備をしっかりとしていなければ、誤った判断や準備不足で危険にさらされるかもしれないというデメリットもあります。安全に避難するための行動として、以下のようなものがあります。

(例)



今後の雨の状況などをテレビやスマートフォンなどで確認してから、避難を開始する。



日頃から、避難のタイミング、避難経路や避難先を決めておく。



日頃から家族などと避難について話し合っておく。



1人で避難する前に、家族などに連絡する。



市町の指定する避難所、避難場所の開設状況を確認する。



非常持出品袋をすぐに持って避難できるように備えておき、玄関などのわかりやすい場所に置いておく。

家族などであなたを探しに戻ってきそうな人がいる場合は、避難する前に連絡しておきましょう。

また、自宅に1人でいる可能性が高いとあらかじめわかっている人は、近所の人や友人などいっしょに避難することも考えてみましょう。



## 演習3-B 解説

### 演習3-B >>> 自宅に残って様子を見るとききの行動

出題のねらい

警戒レベル4「避難指示」が発令されるまでの時間に、どのような行動や準備ができるかを考えることができる。

#### 解説

自宅で様子を見る場合、警戒レベル4「避難指示」が出るまでに、できる準備を行っておくことが大切です。

その場合の準備や行動として、以下のようなものがあります。

(例)



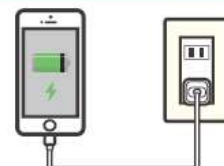
山から離れた2階以上の部屋  
など、安全な場所で過ごし  
ながら避難の準備を行う。



スマートフォンやテレビなどで  
最新情報をこまめに入手し、  
避難が必要だと感じたタイミング  
で、直ちに避難を開始する。



非常持出品の準備や避難先・  
避難経路を再確認する。



スマートフォンや  
モバイルバッテリーを充電する。



家族などに連絡して、いつ頃  
帰宅できそうかを確認する。



作成しておいたマイ・タイム  
ラインを見ながら準備を行う。

災害が迫ったとき、1人でどうすればよいかわからず困ることがあるかもしれません。

日頃から以下のような準備をしておきましょう。



避難が必要になった場合の  
行動について考えたり、家族  
などと話し合ったりしておく。



近所の人など、  
いっしょに避難してくれる人が  
いるかを考えておく。

演習  
4-A・B  
解説

演習4-A・B >>> 避難所まで安全に避難するための行動

出題のねらい

自宅から避難所まで安全に避難するために、取るべき行動や注意する点を考えることができる。

解説

避難するときの注意点として、以下のようなものがあります。  
(例)



原則、徒歩で避難する。

ただし、山間部に住んでいるなど徒歩での避難が難しい人は、車で避難したほうがよい場合もあります。車での避難が必要な人は、警戒レベル3など早めのタイミングで避難を開始しましょう。



がけの近くや川の近くなどの危険な場所をできるだけ避ける。



雨の状況などを確認して、なるべく明るいうちに避難する。



濁った水で見えなくなった用水路や側溝に落ちないために、傘や杖などを使って、足元を確かめながら注意して歩く。



なるべく手を空けるために、ヘッドライトやレインコートを身に着ける。



長靴は中に水が入って重くなり歩きにくくなるため、運動靴を履く。



できる限り複数人で避難する。

危険な場所にいる人は、警戒レベル3または4で避難を開始することが重要です。しかし、すでに道路が冠水している場合や、夜中など暗くて安全な避難ができない場合は、無理に避難先への移動はせずに、自宅の2階以上や近くの頑丈な建物の上層階などに避難することも考えましょう。

## 演習5 解説

### 演習5 >>> 避難所での行動



出題のねらい 避難所で取るべき行動を理解する。

#### 解答

あなたは、避難所に着きました。  
以下の文章を読み、避難所での行動として誤っているものをすべて選  
び、□にチェックを入れなさい。

- あなたは受付で【☐自分の名前と連絡先の登録】を行いました。
- その際、【☐卵アレルギーがあることを伝える】とともに、持って来た食料や水だけでは不安があっ  
たので、【☒自分の食料と水をじゅうぶん確保してもらうよう依頼】しました。
- 受付後、近くに掲示板を発見しました。避難所のルールやお知らせが貼り出されていたので、【☐  
避難所で過ごすためのルールを確認】しました。
- その後、決められたスペースに移動して【☐SNSなどを使って、家族や友人などと避難の状況を共  
有】し、さらに【☐周辺の避難者の方と話したり、避難所にあったラジオを聞いたりして情報収集】  
を行いました。
- あなたは、避難所の運営者に【☒「かわいそう。1匹だけなので、ペットといっしょにいさせてあげて  
もよいではありませんか？」と発言】しました。

#### 解説

- 避難所での生活では、健康な人で  
も心労が重なって体調悪化などが  
起こることがあります。アレルギーや  
持病のある人は、**受付時に、配慮  
が必要なアレルギーや病歴を伝  
えましょう。**  

- **家族や親戚などと連絡を取り  
合って、安否確認や居場所の確  
認をしましょう。**  

- 周囲の人から話を聞く、ラジオを聞くなどして、**災害に関する情報収集  
を進めることも重要です。**

#### ここが間違え！

【☒自分の食料と水をじゅうぶん確保してもらうよう依頼】

避難所では、みんなが協力し  
合うことが大切です。**自分が優先  
的に食料や物資を確保するの  
ではなく、他の避難者とともに過  
していく心づかいが必要です。**



【☒「かわいそう。1匹だけなので、ペットといっしょに  
いさせてあげてもよいではありませんか？」と発言】

避難所には、動物が苦手な人や動  
物アレルギーを持っている人など、さま  
ざまな人がいます。

**ペットといっしょに避難所に入るこ  
とができるかどうかは、避難所によ  
って異なります。(屋外や別室などでの飼育ルールが決められているこ  
ともあります。)今回の避難所は、「屋外別居」というルールが決まっ  
ているので、1人だけに特例を認めることは望ましくありません。**





## 演習1

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> 演習6 >>> 演習7 >>>

災害が起きたときの危険な場所を探そう▶関連単元①・②

>>> 演習8 >>> 終了

### 探してみよう!

あなたの周囲で、大雨が降ると危険だと思う場所の写真をアップロードしましょう。

参照

### ステップアップ

アップロードした写真の場所について、どのような点を危険と感じたか、危険な場所を避けるためにできることはないかななどをグループで話し合い、その結果を発表しましょう。他の人に見られると困るような写真はアップロードしないようにしてください。



解説を見る



演習2

演習1 >>> **演習2** >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> 演習6 >>> 演習7 >>>

非常持出品・備蓄品びちくのおすすめを考えよう▶関連単元④

>>> 演習8 >>> **終了**

探してみよう!

あなたの家に備えている非常持出品や備蓄品びちくの中で、最もおすすめの防災用品や食料の写真をアップロードしましょう。

家に備えている非常持出品がない場合は、災害が起きたときに使えるそうだと(使えるかもしれない)と思うものの写真をアップロードしましょう。

参照

ステップアップ

アップロードした写真の防災用品や食料について、おすすめしたいと考える理由や、使い方で工夫していることなどをグループで話し合い、その結果を発表しましょう。



**解説** を見る

## 演習3

演習1 >>>

演習2 >>>

**演習3 >>>**

演習4 >>>

演習5 >>>

演習6 >>>

演習7 >>>

「自助」「共助」「公助」に関するものを探そう▶関連単元⑤

>>>

演習8 >>>

**終了**

### 探してみよう!

防災では「自助」「共助」「公助」が重要になります。それらに関する、以下のような写真をアップロードしましょう。

- ・あなたが、自分や家族の命を守るために取り組んでいること(自助)
- ・地域の人と協力して助け合うために取り組んでいること(共助)
- ・行政が、住民の安全と安心を確保するために作成しているものや設置している施設(公助)

参照

自分や家族などが  
取り組んでいることや、  
防災訓練に参加している様子の  
写真などがあれば、アップしよう!



行政が作ったものには、  
どのようなものがあるかな?  
みんなが取り組んでいるこの教材も、  
災害から命を守ってほしいという思いで、  
広島県が作っているよ!



### ステップアップ

アップロードした写真について、どのような場面なのか、選んだ理由などをグループで話し合い、その結果を発表しましょう。

**解説** を見る

## 演習4

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> **演習4 >>>** 演習5 >>> 演習6 >>> 演習7 >>>

避難所生活について考えを深めよう▶関連単元⑤

>>> 演習8 >>> **終了**

右の写真は、ある指定避難所※の様子です。

避難所での生活は、普段の生活とどのような点が違うと思いますか。

また、中学生であるあなたたちは、避難所でどのような手伝いができると思いますか。記入しましょう。

※ 指定避難所：災害により家に居られなくなった住民が一時的に滞在することを目的とした施設



▲平成26(2014)年8月豪雨災害のときの指定避難所の様子

**ステップアップ**

考えた内容をグループで話し合い、その結果を発表しましょう。



**解説** を見る

## 演習5

演習1 >>>

演習2 >>>

演習3 >>>

演習4 >>>

演習5 >>>

演習6 >>>

演習7 >>>

台風の情報を読み解く▶関連単元①

>>>

演習8 >>>

終了

### 問題

右の「9月16日23時時点の台風進路予報図」を見て、以下の問いに答えなさい。  
台風は今後、中国地方に近づくことが予想されています。  
台風情報の見方や台風に対する考えとして正しいものを、次の①～⑤までの中から、1つ選びなさい。



2022年9月16日23時時点の台風進路予報図  
出典：気象庁ホームページ「台風情報」を加工して作成

- ☐ ① 予報円(白い円)が次第に大きくなっているのは、台風が発達して大きくなることを表している。
- ☐ ② 台風が中国地方から離れているときは、雨が降ることはない。
- ☐ ③ 明後日(18日)に広島県を出発し、2泊3日で福岡県の祖父母の家へ帰省する予定だ。祖父母に会いたいので、予定どおり会いに行く。
- ☐ ④ 私の住んでいる地域では、これまで台風の被害を受けたことがなかったので、今回の台風も大丈夫だ。
- ☐ ⑤ 台風が接近するまでに、接近時に避難することを考えて必要なものを確認したり準備したりする。

解答

解説

を見る



## 演習6

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> **演習6 >>>** 演習7 >>>

線状降水帯の特徴を理解する▶関連単元①

>>> 演習8 >>> **終了**

### 問題

右は、気象レーダーの「線状降水帯」による雨雲の動きを示した動画です。

線状降水帯の説明として正しいものを、次の①～④までの中から、すべて選びなさい。



提供: 広島地方気象台

- ☐ ① 発達した雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通ったりとどまったりすることで、雨雲の下の狭い範囲に大雨を降らせる。
- ☐ ② 線状降水帯が発生すると、災害の危険性が高くなる。
- ☐ ③ 線状降水帯は降水域の幅が狭いため、災害は発生しにくい。
- ☐ ④ 線状降水帯は、正確な予測が難しい現象の1つである。

**解答 解説** を見る

## 演習7

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> 演習6 >>> **演習7 >>>**

天気予報から現象が起きる時間帯を読み取る▶関連単元③

>>> 演習8 >>> **終了**

### 問題

天気予報や防災気象情報で時間を表す場合、1日を3時間ずつ8つの時間帯に分けた予報用語を用います。

次のような天気予報の場合、雨が予想される時間帯はいつですか。その説明として正しいものを、次の①～④までの中から、1つ選びなさい。



「くもりのち 晴れ 未明 雨」

- ☐ ① 雨が予想される時間帯は、午前0時から午前3時頃までである。
- ☐ ② 雨が予想される時間帯は、午前2時頃から午前5時頃までである。
- ☐ ③ 雨が予想される時間帯は、午前3時頃から午前6時頃までである。
- ☐ ④ 雨が予想される時間帯は、午後11時頃から翌日の午前2時頃までである。

**解答 解説** を見る

## 演習8

演習1 >>> 演習2 >>> 演習3 >>> 演習4 >>> 演習5 >>> 演習6 >>> 演習7 >>>

>>> 演習8 >>> 終了

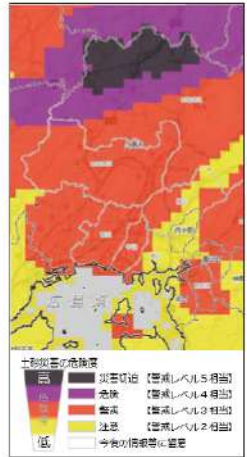
キキクルから災害の危険度を読み取る▶関連単元③

### 問題

右の「土砂キキクル(危険度分布)」は、大雨によってどこで土砂災害の危険度が高まっているかを、地図上に示したものです。

土砂キキクルの見方として適切なものを、次の①～③までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 赤色の範囲では、命に危険が及ぶ土砂災害が発生する危険性がないことを表している。
- ☐ ② 紫色の範囲では、命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくないことを表している。
- ☐ ③ 黒色の範囲では、命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生している可能性が高いことを表している。



土砂キキクル  
提供:広島地方気象台

解答 解説 を見る

# 演習1 解説

## 演習1 >>> 災害が迫ったときの危険な場所を探そう ▶ 関連単元①・②

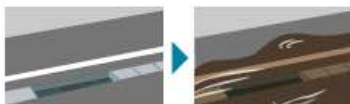
出題のねらい 災害が迫ったときの、身近な場所の危険性に気づくことができる。

### 解説

普段は危険でない場所でも、大雨や台風などの影響で危険な場所になるかもしれません。

(例)

#### ふたのない側溝や用水路



水があふれると足元が見えなくなって、誤って落ちてしまうかもしれない。

#### たくさんの傘や植木鉢が置いてある場所



台風が来たら、強風で傘や植木鉢が飛ばされるかもしれない。

#### 地下街



地下に大量の水が流れこんでくると、逃げられなくなるかもしれない。

#### 急な坂道や階段



速い流れによって転んだり、流されたりしてしまうかもしれない。

#### アンダーパスなどの低い場所



深く水がたまって逃げ出せなくなってしまうかもしれない。

#### がけの近くの道



がけ崩れが起きるかもしれない。

#### 川の近く



増水した川の水が道路にあふれてくると、足元がとられて流されるかもしれない。

#### 小さな沢



土石流が流れ出てくるかもしれない。

日常生活において、今回見つけた場所以外にも危険になりそうな場所はないか、安全な場所はどこかなどをシミュレーションしながら過ごしてみましょう。



## 演習2 解説

演習2 >>> 非常持出品・備蓄品のおすすめを考えよう▶関連単元④

出題のねらい 非常持出品・備蓄品について、その利用方法なども含めて考えることができる。

### 解説

#### 《 非常持出品・備蓄品の基礎知識 》

- 在宅避難の人も、災害時に備えて、備蓄品を準備しておく。
- 水と食料品は、最低でも3日分は用意しておく。
- 非常持出品には、最低限の水や食料品、携帯ラジオなどのほか、普段飲んでいる薬など、自分にとって必要なものを準備しておく。
- 定期的に、準備をしている非常持出品などを見直したり、食料の賞味期限やカイロの使用期限を点検する。



備蓄の目安=家族の人数×最低3日分

※できれば1週間分を備えましょう

#### 参考Webサイト

■広島県「みんなで減災」はじめての一步

>>>防災グッズ一覧ページ

<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/prepare/goods.html>



#### 《 工夫次第でいろいろ使える! 防災用品&非常持出品 》

工夫によって、さまざまな使い方ができます。

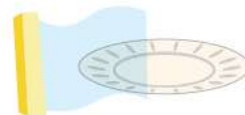
(例)

傘や杖などを使い、  
足元を確かめながら歩く



濁った水がたまって見えなくなった用水路や側溝などへの落下を防ぐことができる。

紙皿にラップフィルムをかける



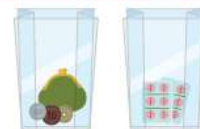
食事後、水で洗う必要がなく、紙皿を使い回すことができる。

チャック付き保存袋に  
保護したいものを入れる



スマートフォンなどの電化製品や衣類などを保護するのに適している。

透明や半透明の袋で  
小分けに保管する



中に入れているものを把握しやすいので、「貴重品」や「衛生用品」などに小分けして保管することができる。

などです。

他にも、どのような工夫ができるか、グループでアイデアを出し合ってみよう。



# 演習3 解説

演習3 >>> 「自助」「共助」「公助」に関するものを探そう ▶ 関連単元⑤

出題のねらい 「自助」「共助」「公助」について、具体的な例を見つけることができる。

## 解説

### 《 自分や家族の命を守るために取り組んでいること(自助) 》

非常持出品袋<sup>ぶくろ</sup>の用意、  
防災情報メールや防災アプリへの登録、  
災害用伝言ダイヤルの使い方の確認、  
マイ・タイムラインシートの作成、  
気象情報をテレビで確認  
している様子など。



### 《 地域の人と協力して助け合うために取り組んでいること(共助) 》

挨拶<sup>あいさつ</sup>活動、  
ボランティア、  
地域の清掃活動<sup>せいそう</sup>、防災訓練への参加  
の様子など。



### 《 行政が、住民の安全と安心を確保するために取り組んでいること(公助) 》

ハザードマップの作成、  
県や市町が作成する防災啓発チラシ<sup>けいはつ</sup>、  
防災情報を発信しているWebサイト、  
指定避難所<sup>ひなん</sup>の看板、  
市(区町)が開催する防災の講座<sup>かいさい</sup>、  
砂防堰堤<sup>さぼうえんてい</sup>やがけ崩れを防止する施設<sup>しせつ</sup>、  
ダムや堤防<sup>ていぼう</sup>、排水機場<sup>はいすい</sup>の様子など。



避難所・避難場所



ハザードマップ



砂防堰堤



河川改修工事



排水機場

挨拶などの日常の積み重ねや、防災への意識を持って取り組んでいることがあれば、今後も続けていきましょう。

行政も、災害を防ぐための施設工事や避難所の生活必需品の備えを行うだけでなく、みなさんの防災知識の習得や避難のサポートができるよう、チラシやWebサイトなどのツール作成を行っています。ぜひ、有効に活用してください。

## 演習4 解説

### 演習4 >>> 避難所生活について考えを深めよう ▶ 関連単元⑤

出題のねらい

避難所生活を自分ごととしてとらえ、考えを深めることができる。

#### 解説

避難所は、多くの避難者が共同生活する場所です。避難所のルールに従い、他の避難者と協力し合いながら過ごすことが求められます。普段どおりの自由な生活とは異なる生活になることを理解しましょう。

(例)

- 避難所での共同生活は、避難者のスペースが決まっている
- 消灯時間が決まっている
- 物資の配布にルールが決められている

また、避難所の運営では、人手が不足することがあります。

例えば、東日本大震災では中高生が炊き出しの配膳、物資の配布や防犯の手伝いなどを大人とともにやり、大きな役割を果たしたといわれています。

中学生のみなさんにも手伝えることがきっとあるはずです。高齢者、けがをした人や病気の人などに代わって自分たちにできることを積極的に見つけ、大人と協力して避難所運営をサポートできるようになりましょう。



▲平成22(2010)年7月豪雨災害のときの指定避難所の様子



▲平成26(2014)年8月豪雨災害のときの指定避難所の様子

演習5  
解説

演習5 >>> 台風の情報を読み解く▶関連単元①

出題のねらい 台風が接近している場合におけるべき行動について、考えを深める。

解答

右の「9月16日23時時点の台風進路予報図」を見て、以下の問いに答えなさい。  
台風は今後、中国地方に近づくことが予想されています。  
台風情報の見方や台風に対する考えとして正しいものを、次の①～⑤までの中から、1つ選びなさい。



2022年9月16日23時時点の台風進路予報図  
出典：気象庁ホームページ「台風情報」を加工して作成

- ☐ ① 予報円（白い円）が次第に大きくなっているのは、台風が発達して大きくなることを表している。✕
- ☐ ② 台風が中国地方から離れているときは、雨が降ることはない。✕
- ☐ ③ 明後日（18日）に広島県を出発し、2泊3日で福岡県の祖父母の家へ帰省する予定だ。祖父母に会いたいので、予定どおり会いに行く。✕
- ☐ ④ 私の住んでいる地域では、これまで台風の被害を受けたことがなかったので、今回の台風も大丈夫だ。✕
- ☒ ⑤ 台風が接近するまでに、接近時に避難することを考えて必要なものを確認したり準備したりする。○

解説

- ① 台風の予報円（白い円）は、台風の大きさではなく、台風の中心が到達すると予想されるエリアを表したものです。（予報円に台風の中心が入る確率は70%）予報円が大きいほど台風がどこを進むか定まっておらず、今後の進路についてわからない要素が大きくなります。
- ② 台風が離れていても、日本付近に停滞している前線を活発化させるなどして、大雨を降らせることがあります。
- ③ 予報では、18日から20日にかけて、九州地方と中国地方を台風が通過することになっています。台風に向かって広島県から福岡県へ行くことは望ましいとはいえません。（下図参照。）



2022年9月16日23時時点の台風進路予報図



2022年9月19日9時時点の台風進路予報図  
出典：気象庁ホームページ「台風情報」を加工して作成

- ④ 「これまで被害を受けたことがない」ということから判断するのではなく、天気予報などを見てしっかりと判断しましょう。
- ⑤ 早めに避難の準備をしておくことが、災害時の安全につながります。





## 演習6 解説

### 演習6 >>> 線状降水帯の特徴を理解する ▶ 関連単元①

出題のねらい 線状降水帯の特徴について、考えを深める。

#### 解答

右は、気象レーダーの「線状降水帯」による雨雲の動きを示した動画です。

線状降水帯の説明として正しいものを、次の①～④までの中から、すべて選びなさい。

- ☒ ① 発達した雨雲が次々と発生し、ほぼ同じ地域を通ったりとどまったりすることで、雨雲の下の狭い範囲に大雨を降らせる。
- ☒ ② 線状降水帯が発生すると、災害の危険性が高くなる。
- ☐ ③ 線状降水帯は降水域の幅が狭いため、災害は発生しにくい。
- ☒ ④ 線状降水帯は、正確な予測が難しい現象の1つである。



提供：広島地方気象台

#### 解説

線状降水帯とは、線状に伸びる強い降水域のこと。

**次々と発達する雨雲が風下に移動しながら発達することで、ほぼ同じ地域に雨を降らす現象が繰り返されます。結果的に狭い範囲に大雨を降らせるため、災害の危険性が高くなります。**

また、線状降水帯は、正確な予測が難しい現象の1つです。その理由としては、線状降水帯の発生メカニズムに未解明な点があることなどが挙げられています。





## 演習7 解説

### 演習7 >>> 天気予報から現象が起きる時間帯を読み取る ▶ 関連単元③

出題のねらい 天気予報をみて、現象が起きる時間帯を読み取ることができる。

#### 解答

天気予報や防災気象情報で時間を表す場合、1日を3時間ずつ8つの時間帯に分けた予報用語を用います。

次のような天気予報の場合、雨が予想される時間帯はいつですか。その説明として正しいものを、次の①～④までの中から、1つ選びなさい。



「くもりのち 晴れ 未明 雨」

- ☒ ① 雨が予想される時間帯は、午前0時から午前3時までである。  
☐ ② 雨が予想される時間帯は、午前2時から午前5時までである。  
☐ ③ 雨が予想される時間帯は、午前3時から午前6時までである。  
☐ ④ 雨が予想される時間帯は、午後11時から翌日の午前2時までである。

#### 解説

天気予報や防災気象情報で時間を表す場合、以下の図のように1日を3時間ずつ8つの時間帯に分けた予報用語を用います。

時間を表す用語								
午前0時 (0時)	午前3時 (03時)	午前6時 (06時)	午前9時 (09時)	正午 (12時)	午後3時 (15時)	午後6時 (18時)	午後9時 (21時)	午前0時 (24時)
未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
午前				午後				
 日中				 夜				

覚えて  
おこう!

- 「未明」や「明け方」などの用語は、天気予報でよく使われる。台風が接近しているときなど、夜に被害が出る**ことが予測できる場合は、明るいうちに避難を開始したり、夜の間は安全な場所**で過ごしたりするようにしよう!



## 演習8 解説

### 演習8 >>> キキクルから災害の危険度を読み取る ▶ 関連単元③

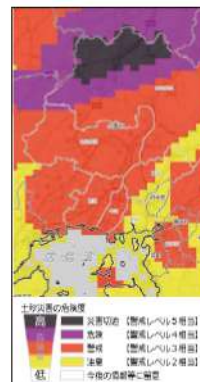
出題のねらい キキクル(危険度分布)の情報を見て、避難のタイミングを考えることができる。

#### 解答

右の「土砂キキクル(危険度分布)」は、大雨によってどこで土砂災害の危険度が高まっているかを、地図上に示したものです。

土砂キキクルの見方として適切なものを、次の①～③までの中から、すべて選びなさい。

- ☐ ① 赤色の範囲では、命に危険が及ぶ土砂災害が発生する危険性がないことを表している。
- ☒ ② 紫色の範囲では、命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくないことを表している。
- ☒ ③ 黒色の範囲では、命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生している可能性が高いことを表している。



土砂キキクル  
提供：広島地方気象台

#### 解説

土砂キキクルは、大雨によってどこで土砂災害の危険度が高まっているかを地図上に示したもので、災害の危険度をリアルタイムで確認することができます。

キキクル(危険度分布)には、「土砂」のほか「浸水」と「洪水」があります。

### 《 キキクルと警戒レベルの対応 》

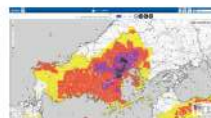
下の図のように、キキクル(危険度分布)の色はそれぞれ意味を持っており、警戒レベルと対応しています。

キキクルの色が持つ意味	取るべき行動	該当する警戒レベル
災害切迫	命の危険 直ちに安全確保!	警戒レベル5 相当
警戒レベル4までに必ず避難!		
危険	危険な場所から全員避難	警戒レベル4 相当
警戒	危険な場所から高齢者等は避難	警戒レベル3 相当
注意	避難行動を確認	警戒レベル2 相当
今後の情報等に注意	災害への心構えを高める	警戒レベル1 相当

\*土砂キキクルの情報に関わらず、自治体から避難情報が発令された場合には、直ちに避難行動を取りましょう。

#### 気象庁 キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#lat:34.644507/lon:132.786255/zoom:8/c:olordepth:normal/elements:land>



#### ここが間違い!

- ① キキクルで表示される色は、警戒レベルと対応しています。赤色の持つ意味は警戒レベル3「高齢者等避難」相当で、災害の発生に対する「警戒」を表しているため、危険性がないという部分が間違いになります。

## MEXCBT の規格等について

## 1 MEXCBT 利用にあたる基本情報

- MEXCBTへのアクセスは、学習 e ポータル経由でのみ利用可能である。
- 学習 e ポータル及びMEXCBTは、Web 上で動作するものである。
- オンラインの利用となるため、1 端末あたり0.35Mbps～0.5Mbps の帯域が必要となる。動画等を利用した問題を再生する場合には、環境により動作が遅くなる可能性がある。
- MEXCBTでは、児童生徒の氏名等の個人情報は取得しないため、匿名のアカウント氏名（例：「児童生徒0001」等）で運用される。

## 【MEXCBTのブラウザ対応状況】














○：対応（各ブラウザの最新バージョンに対応）	×：非対応ブラウザ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Edge</li> <li>• Google Chrome</li> <li>• Apple Safari</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Internet Explorer11</li> <li>• Mozilla Firefox</li> </ul>

※ 詳細は、MEXCBT 運用支援サイト（<https://support2.mexcbt.mext.go.jp>）を参照すること。

## 2 MEXCBT の問題へ掲載できる特殊文字及びマルチメディア（コンテンツ）

## (1) 装飾・特殊文字・数式






次の装飾については、MEXCBT の問題文の装飾機能として搭載されている。

装飾区分	アイコン	概要
文字の装飾		選択した文字を太字にします。
		選択した文字を斜体にします。
		選択した文字に下線を引きます。
		選択した文字を下付き文字にします。
		選択した文字を上付き文字にします。
特殊文字やマルチメディアの挿入		カーソルの位置に特殊文字を挿入します。
		カーソルの位置などに数式を挿入します。
		xml で記述された文書を挿入します。本資料では扱いません。
		画像ファイルをアップロードし、問題文中に挿入します。
		動画や音声ファイルをアップロードし、問題文中に挿入します。
		問題文中に表を挿入します。
リンクの挿入		問題文中に注釈付きの文章を挿入します。
		問題文中にリンクを挿入します。



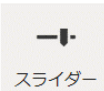

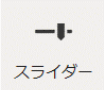
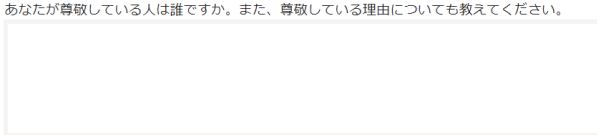

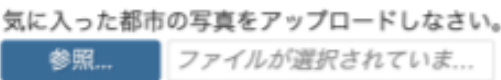




## (2) 搭載できるコンテンツについて

- 画像（jpg・png）
  - ※ 著作権を侵害しておらず、個人情報を含まないものとする。
  - ※ ファイル名は日本語を含まず、英数字とすること。
- 動画ファイル（mp3・mp4）
- 音声ファイル（mp3・mp4）
  - ※ 動画、音声ファイルは、1 つ当たり 200MB 以下。推奨は、mp4。
  - ※ ファイル名は日本語を含まず、英数字とすること。

### 3 MEXCBT へ掲載できる問題の種類 参考：文部科学省 問題作成用マニュアル

問題の種類	概要	画像	動画	イメージ																				
選択問題 	<多肢選択／択一問題> ・チェックして正しい答えを選択する問題 ・選択肢を増やすことも可	○	—	<div><p>人口300万人以上の都市を選びなさい。</p><div><input type="checkbox"/> 札幌市 <input type="checkbox"/> 横浜市 <input type="checkbox"/> 名古屋市 <input type="checkbox"/> 大阪市</div></div> <p>(単一問題)</p> <div><p>東日本の都道府県を二つ選んでください。 東日本の都道府県を二つ選んでください。</p><div><div><p>2個選択してください</p><div><input type="checkbox"/> 宮城 <input type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪 <input type="checkbox"/> 福岡</div></div><div><p>2個選択してください</p><div><input checked="" type="checkbox"/> 宮城 <input checked="" type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪 <input type="checkbox"/> 福岡</div></div></div></div> <p>(複数選択問題)</p>																				
順序問題 	<並び替え問題> ・年代順、優先順位、アルファベット順または数字順、サイズ順など、要素を提示し並び替えを行わせ、順序についての知識を問う問題	○	—	<div><p>人口の多い順に並べなさい。</p><div><div><ul style="list-style-type: none"><li>札幌市</li><li>横浜市</li><li>名古屋市</li><li>大阪市</li></ul></div><div>&gt;</div><div></div></div></div>																				
関連問題 	<組合せ（一対一の関連）問題> ・受検者が関連する単語やフレーズを一致させ組合せをさせる問題	○	—	<div><p>都市と人口を組み合わせなさい（人口は2020年統計の法定人口）。</p><div><div><div>札幌市</div><div>横浜市</div><div>名古屋市</div><div>大阪市</div><div>195万人</div><div>372万人</div></div><div><div>229万人</div><div>269万人</div></div></div><div><div></div><div>—</div><div></div></div></div>																				
マッチ問題 	<組合せ（正しい箇所）問題> ・表形式で正しい箇所を選択させる問題	○	—	<div><p>都市区分と都市名の正しい組み合わせにチェックしなさい。4つまで指定できます。</p><table><thead><tr><th></th><th>指定都市</th><th>中核市</th><th>施行時特例市</th></tr></thead><tbody><tr><td>札幌市</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>横浜市</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>名古屋市</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>大阪市</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr></tbody></table></div>		指定都市	中核市	施行時特例市	札幌市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	横浜市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	名古屋市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指定都市	中核市	施行時特例市																					
札幌市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
横浜市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
名古屋市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
大阪市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
ホットテキスト問題 	<チェックボックス式選択問題> ・文中の文言から、正解を選択する問題	○	—	<div><p>指定都市に関する記述で間違いを選びなさい。</p><p>指定都市とは、<input type="checkbox"/> 地方自治法 で「政令で指定する <input type="checkbox"/> 人口100万以上 の市」と規定されている都市のことです。</p></div>																				



問題の種類	概要	画像	動画	イメージ
ギャップ マッチ 問題   ギャップマ...	<ドラッグアンドドロップ 問題> ・ドラッグアンドドロップ形式 で正しい解答を選んで解答す る問題	○	—	
スライダ ー問題   スライダー	<スライダー形式問題> ・スライダー形式で解答する問 題	○	—	
拡張テキ スト問題   スライダー	<長文テキスト（論述）問題> ・記述式問題を作成できる。 ・自動採点機能はなし。	○	—	
アップロ ード問題   アップロー...	<ファイルアップロード 問題> ・児童生徒のパソコンで作成し たファイルのアップロードが 可能。 ・自動採点機能はなし。	○	○	
メディア 問題   メディア	<メディア（動画・音声） 問題> ・動画・音声を利用したリスニ ングなどの問題 ※200MB 以下の動画、 音声ファイル（mp4 推奨）	—	○	
テキスト ブロック （インラ イン） 問題	・選択肢の中から正しい解答を 選択する問題	○	—	
テキスト ブロック （テキス ト入力） 問題	・文字入力を行い解答する問題 ※「半角／全角」、「大文字／ 小文字」含め、「応答」で定義 された解答と完全に一致した 場合のみ正解となる。	○	—	

※ 自由記述問題は、拡張テキストを活用する。

※ メディア問題は、選択肢を差し込まず、動画・音声のみの登録も可能である。

#### 4 MEXCBT のテスト画面等（参考） 参考：文部科学省 児童生使用簡易マニュアル（実証学習 e ポータル）



「MEXCBT テスト」画面トップページ  
（児童生徒向け）



テスト選択画面



MEXCBT の画面



正解・解説への導入画面



結果を見る